

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策		
						R3	R4	R5	R6	R7					合計	
1	子育て・福祉・医療	子育て環境の充実	安心して妊娠・出産できる環境づくり	妊娠・出産に関する正しい知識の普及・啓発	健康課	308						308	<p>妊娠・出産に関する正しい知識の普及・啓発を図るとともに、妊娠初期から個々の状況に応じた適切な支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付時に保健師による面接を全数行い、特に支援が必要なケースについては、保健師間での情報共有や支援内容の検討を定期的に行った。 必要に応じて医療機関や関係課と連携し、継続的な個別支援を実施した。 妊娠・出産・育児に関する正しい知識の普及を図るため、ファミリー学級を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての妊婦に対して作成する支援プランについて、内容や運用方法の評価・改善により、妊婦に対する適切な支援に繋げていく必要がある。 妊娠出産の正しい知識を得る場であり、かつ仲間づくりの場であるファミリー学級のさらなる参加者増に向け、効果的な周知方法を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦面接時の情報収集とカンファレンスを継続する。 特に支援が必要な人をスクリーニングするための判断基準を適宜見直し、適切な個別支援に繋げる。 経過観察妊産婦及び児に係る医療機関・関係課との情報共有や連携を継続する。 ファミリー学級について、市内産院での周知や経過観察妊婦に対する受講勧奨を継続する。
2	子育て・福祉・医療	子育て環境の充実	妊娠・出産・子育ての一貫した支援	母子保健事業	健康課	27,290						27,290	<p>妊婦・乳幼児健診や地区担当保健師を主とした相談支援、ファミリー学級、思春期ふれあい体験などを実施し、母性をはぐみ乳幼児の健康の保持増進を図ります。また、子育て世代包括支援センターを設置し、妊婦及び乳幼児のいる家庭に切れ目のないきめ細かい支援を行うことによって、育児における孤立感の減少・虐待の防止と早期発見を図ります。さらに、対象者の利便性向上（子育てワンストップ）に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦及び乳幼児のいる家庭の不安軽減や虐待防止の観点から、妊婦・乳幼児の各種健診や地区担当保健師による個別支援を行った。 コロナ禍のため、思春期ふれあい体験は実施することができなかった。 子育て世代包括支援センター「たてっ子」において、妊産婦に妊娠、子育てに関する情報を提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠・出産・育児と切れ目のないきめ細やかな支援を継続していく。 子育て世代包括支援センターの運用について、妊婦および乳幼児のいる家庭のニーズを把握し、適切かつ利便性の高いサービスの利用に結び付けていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 未把握者ゼロを維持するために、未訪問・健診未受診者への状況把握を行う。 妊婦および乳幼児のいる家庭のニーズを把握し、適切なサービス利用に結び付けていく。そのため、窓口対応の利便性向上、育児における孤立感の減少・虐待防止と早期発見等について関係各課で検討し改善事項を共有できるように調整していく。
3	子育て・福祉・医療	子育て環境の充実	子育てしやすい環境づくりの推進	子育て支援事業	こども課	11,436						11,436	<p>子育てコンシェルジュ2人体制 相談実績：1,189件 ・子育て相談他；210件 ・保育所幼稚園；769件 ・学童；173件 ・一時預り；37件 病児・病後児保育事業（亀田病児・病後児保育室 たてやま） ・市内利用者数210人 ・市外利用者数1人 ・保護者の仕事と子育ての両立を支援するため、受け入れ態勢を維持した。 ・新型コロナウイルス感染症による預け控えにより、利用者数が減少した。</p>	<p>子育てコンシェルジュ ・子育てに関するサービスのコーディネーターであることは理解されるようになったが、市民への認知度はまだ低い。 病児・病後児保育事業 ・病児・病後児保育における利用者の減少はあるが、体制を維持することで、保護者のいざという時の安心感につながっている。</p>	<p>子育てコンシェルジュ ・利用者支援員（子育てコンシェルジュ）の複数配置の継続を継続し、親切、丁寧な相談を実施する。 病児・病後児保育事業 ・一定のニーズがあり、利用者の減は新型コロナウイルス感染症の影響による一時的なものであることから、今後も必要な体制を保持する。</p>	

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						4	子育て・福祉・医療	子育て環境の充実	子育てしやすい環境づくりの推進	保育園・こども園における保育サービスの充実					こども課
5	子育て・福祉・医療	子育て環境の充実	子育てしやすい環境づくりの推進	幼児教育の充実	こども課	29,554					29,554	<ul style="list-style-type: none"> ・個別施設計画を策定し、その中で北条幼稚園の今後の方向性を検討した。 ・公立保育園と同額の保育料で私立保育園へ通わせることができるよう、私立保育園へ市から運営費及び施設型給付費を支出した。 ・幼児教育無償化に伴い、新制度に移行していない私立幼稚園を利用する世帯に対し、保育料等を助成。 ・3歳からの短時間児の公立こども園での受入れについては、待機児童対策を優先した結果、実現には至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本件は市全体の幼児教育・保育施設の在り方や配置を検討し、その方向性に基づき事業を推進することで効果が出るもののため、現段階では効果が出ていない。 ・少子化や幼稚園への就園率の減少により、園児数が少ない幼稚園では、集団による教育・保育の提供が困難となっている。 ・統廃合が必要と考えているが、地域住民の心情等もあり、慎重な対応が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模園については、「こども園化」を含め、統廃合について検討する。 ・私立幼稚園については、幼児の個々のニーズに応じた特色ある教育を支援する。 	

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
6	子育て・福祉・医療	子育て環境の充実	子育てしやすい環境づくりの推進	「元気な広場」運営事業	こども課	19,200						19,200	<p>元気な広場 (292日開設/年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者数11,658人 ・来場組数4,925組 ・新規組数192組 <p>出張ひろば (船形、九重、房南；合計71日開設/年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者数127人 ・来場組数55組 ・新規組数1組 <p>館山市ファミリーサポートセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預り件数：71件 ・会員：まかせて会員52人 おねがい会員432人 両方会員 29人 合計 513人 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ禍による子育て家庭の閉そく感や不安感が高まる中、元気な広場は適切な感染症対策を行い、安心して利用できる場であり続けた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は伸び悩んだが、利用者からは多くの感謝の声が聞かれ、子育て家庭の不安解消に貢献できた。 ・R3年度利用者満足度は96.5% ・「出張子育てひろば」における低い利用率の改善策が求められる。 ・ファミリーサポートセンター事業の登録会員の拡大。特にまかせて会員の拡大が急務である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も市民のニーズに沿った運営ができるよう継続していく。 ・祝日や土曜日の開館についての検討。 ・子育ての不安解消や軽減の度合いを深めるよう取組み、利用者の満足度の向上を目指す。 ・出張子育てひろばの開催について利用者が増加するような取組等の検討。 ・ファミリーサポートセンター事業の会員拡大に努めた取り組みの検討。
7	子育て・福祉・医療	子育て環境の充実	子育てしやすい環境づくりの推進	学童クラブ運営事業	こども課	95,017						95,017	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ禍の中にあっても、感染症対策をしっかりと行うことで、安定した受入れを行なうことができクラスタの発生もなかった。 ・R3館山市放課後児童健全育成事業補助金1,044,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ環境を整え、安定した質の高い学童クラブの運営を行った。 ・良好な運営から利用者が増え続けており、時期により一部、高学年児童が利用できない状況にある。 ・個別対応が必要な児童の増加により、支援員の負担が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み長期休業に伴う利用数の増加に対応するため、休業期間に限定し学童を増設し、定員の拡充を行う。 ・個別対応が必要な児童に対し、こども課家庭児童係と連携を強化し、子ども家庭支援員や家庭相談員の定期巡回などの支援を行う。
8	子育て・福祉・医療	子育て環境の充実	子育て家庭への支援の充実	子ども医療費給付事業	社会福祉課	88,268						88,268	<p>中学校3年生までの通院医療費及び入院医療費の助成を継続し、子育て家庭の経済的負担の軽減と子どもの保健の向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭の経済的負担の軽減と子どもの保健の向上を図れた。 	<p>引き続き事業実施の予定である。対象者や対象年齢の拡大については、現制度下では全額市負担となる状況であることから検討が必要である。</p>
9	子育て・福祉・医療	子育て環境の充実	子育て家庭への支援の充実	ひとり親家庭支援事業	社会福祉課	188,987						188,987	<p>ひとり親家庭等に医療費の助成、児童扶養手当、高等職業訓練給付金の支給を行うとともに、母子・父子自立支援員による相談や助言を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と子育ての両立 ・母子家庭や父子家庭が経済的な弱者となっており、経済的な支援や自立のための技術習得などの支援を必要としている。 ・ひとり親家庭の児童の貧困や児童虐待、ネグレクトなどが出現している。 	<p>引き続き事業実施の予定。ひとり親家庭の経済的自立と児童の健全な育成を図るため、現在の経済的支援とともに、相談体制の充実を図っていく。</p>

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7	合計					
						10	子育て・福祉・医療	子育て環境の充実	子育て家庭への支援の充実	児童虐待防止ネットワーク事業	こども課					6,986
11	子育て・福祉・医療	子育て環境の充実	子育て環境の整備	保育園・幼稚園・こども園・学童クラブの整備及び安全対策充実	こども課/建築施設課	0						0	保育・教育環境の向上のため、老朽化した施設の整備改修を行うとともに、北条地区及び那古地区のこども園化を検討します。また、園児の安全を確保するため、食物アレルギー対策や「新しい生活様式」に対応した安全・安心な体制を強化します。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策として、コロナ対策交付金を活用し、トイレの洋式化やエアコンの設置を進め、保育、教育環境の向上を図った。 ・集団規模が縮小している那古幼稚園において預かり保育の実施への道筋をつけることで、津波浸水区域にある純真保育園の機能移転を進めた。 ・園長会議、調理担当者会議、看護師会議等を通じて共通認識を深めることで危機管理の徹底を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害や犯罪等から園児を守るため、関係団体等との連携・協力体制の強化が必要。 ・多様化するアレルギーについて、個別に適切な対応ができるよう対策が必要。 ・コロナ対策交付金を活用して環境整備を進め、園の衛生面や安心・安全な環境が向上した。 ・那古幼稚園における預かり保育開始により、純真保育園の機能の一部移転を進めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児数の減少を踏まえ、小規模園のこども園化や統廃合、預かり保育の検討を進める。 ・子どもたちが通う保育園、幼稚園、こども園の安全確保及び子育てに配慮した生活環境の充実を図る。 ・個別施設計画に定めた基本的な方針に基づき施設の長寿命化に努める。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						12	子育て・福祉・医療	高齢者福祉の充実	高齢者を支える地域づくり	「地域包括ケアシステム」の構築					高齢者福祉課／社会福祉課／健康課

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						13	子育て・福祉・医療	高齢者福祉の充実	高齢者を支える地域づくり	地域で高齢者を支える体制づくり事業					高齢者福祉課
14	子育て・福祉・医療	高齢者福祉の充実	高齢者を支える地域づくり	地域で高齢者を支える体制づくり事業（地域包括支援センター事業）	高齢者福祉課	78,558					78,558	<p>高齢者の総合的な相談窓口として、介護予防や権利擁護事業等を行う地域包括支援センターの体制強化を図ります。また、公正・中立的な立場から、地域包括支援センター運営協議会による地域包括支援センターの運営を支援します。</p>	<p>・地域包括支援センター運営委託</p> <p>・地域包括支援センター運営協議会の開催</p> <p>・介護予防勉強会の開催</p>	<p>【事業の効果】</p> <p>・地域において、高齢者の困りごとに関する相談体制が確保される。</p> <p>・関係機関と情報共有、連携を行うことにより、きめ細やかで包括的な対応、適切なコーディネートが可能となる。</p> <p>・相談者や関係機関、民生委員など地域の関係者などをつなぐネットワークの中核となる。</p> <p>【課題】</p> <p>・情報発信の強化</p> <p>・地域ネットワークの機能強化</p>	<p>●地域包括支援センターが行う地域づくりの活動を積極的に情報発信するとともに、地域包括支援センターの業務や機能について、さらなる周知を図り、地域福祉の向上に繋げる。</p> <p>●地域の組織、関係者、関係機関、関係者と積極的に関わりを持ち、市との連携を強化することにより、さらなる問題解決力の向上、地域ネットワークの中核としての機能強化を図る。</p>
15	子育て・福祉・医療	高齢者福祉の充実	高齢者を支える地域づくり	社会参画・生きがい活動の促進事業	高齢者福祉課	10,537					10,537	<p>高齢者の就労や社会参画、生きがいづくりを促進するため、シルバー人材センター・老人クラブ・「通いの場」（ふれあいいきいきサロン）への助成など社会福祉協議会の活動を支援します。</p>	<p>・敬老祝金を支給</p> <p>・シルバー人材センターに補助金を交付</p> <p>・社会福祉協議会に地域福祉事業活動費補助金を交付</p> <p>・老人クラブ補助金を交付</p>	<p>・敬老祝金を28名に支給した。</p> <p>・シルバー人材センターの受注件数は、R2～R3年度は新型コロナウイルスの影響により減少した。</p> <p>・老人クラブのクラブ数、会員共に減少に歯止めがかからない。</p> <p>・社会福祉協議会のサロンについては、新型コロナウイルスの影響により活発な活動ができなかった。</p>	<p>高齢者の就労や社会参画、生きがいづくり促進のため、シルバー人材センター等への支援を行う。</p>

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策		
						R3	R4	R5	R6	R7					合計	
16	子育て・福祉・医療	高齢者福祉の充実	高齢者を支える地域づくり	高齢者見守り事業	高齢者福祉課	10						10	高齢者が安心して住み慣れた地域での生活を継続できるように、関係団体等による「館山市高齢者見守りネット」の拡充を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の高齢者見守り協定の締結や、高齢者見守りネット報告会は新型コロナウイルスの影響により実施できなかった。 ・高齢者見守りネット協力団体による見守りが行われた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・金融機関、郵便局をはじめ協力団体が、さり気ない見守りを行っていただいている。通報により保護、入院、家への帰宅、サービスの利用に繋げることができた。 ・新たな見守りの目が必要であり、地域へのアピールも必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者見守り事業 関係団体等による高齢者見守りネットワークの構築を行う。地域の民生委員、町内会、社会福祉協議会の地域ボランティア、警察署、新聞販売店等の関係機関と行政・社会福祉協議会によるネットワークを構築している。地域包括支援センターは、関係機関からの情報提供や通報により、高齢者の支援や介護サービス利用へつなげる。
17	子育て・福祉・医療	高齢者福祉の充実	高齢者の生活支援	館山市高齢者保健福祉計画の推進	高齢者福祉課	0						0	『館山市高齢者保健福祉計画』に基づき、介護保険給付の円滑な実施と、高齢者のニーズに沿った福祉施策を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者保健福祉計画で位置づけた施策・事業の進捗管理を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の増加に伴う要介護認定者の増加 ・介護（予防）給付費の増加 ・介護保険料の上昇 	<ul style="list-style-type: none"> ・第8期高齢者保健福祉計画に沿った事業の実施・進捗管理 ・第9期高齢者保健福祉計画の策定
18	子育て・福祉・医療	高齢者福祉の充実	高齢者の生活支援	高齢者の権利擁護事業	高齢者福祉課	4,491						4,491	高齢者の生命を守り、尊厳をもって、その人らしく自立した生活が継続できるように、権利を擁護するための虐待防止や成年後見制度などの各種支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待ネットワーク会議を開催した。 ・また、職員が高齢者虐待防止対策研修等に参加し、高齢者虐待に関する対応力の強化を図った。 ・市長申立による成年後見申請をして、高齢者の権利擁護を図った。 ・安房3市1町で立ち上げた「安房地域権利擁護推進センター」により権利擁護の充実を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待について、虐待を受けている高齢者及び擁護者の支援をすることができた。 ・市長申立により、高齢者に後見人を立てることができた。 ・成年後見の報酬助成を行った。これにより成年後見制度の利用促進に繋がった。 ・高齢化に伴い、後見人が必要となる高齢者が増加するが、後見人となる人材の不足が生じ始めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の生命を守り、権利を擁護することにより、高齢者の尊厳を守るための各種支援を行う。 【高齢者虐待防止事業】 高齢者虐待の防止及び早期発見に努め、高齢者の権利を擁護する。 ・高齢者虐待に関する啓発（パンフレットの配布、広報等による市民への周知活動） ・高齢者と接する機会のある関係機関による情報収集及び見守りの強化（高齢者虐待防止ネットワーク会議開催） 【成年後見制度利用支援事業】 成年後見制度利用助成事業の活用及び、市長申立により成年後見制度が利用できるよう支援する。また、安房権利擁護支援センターの周知を図り、市民の誰でもが、後見制度の相談、利用ができるようにする。
19	子育て・福祉・医療	高齢者福祉の充実	高齢者の生活支援	安定した介護保険制度の運営	高齢者福祉課	5,898,376						5,898,376	適切な要介護（要支援）認定に努めるとともに、ケアプラン点検や介護事業所への指導強化により、介護給付費の適正化を図り、介護保険制度の安定的な運営に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・介護給付の適正化を図るため、「要介護認定の適正化」「介護給付費の通知」「ケアプラン点検」を実施した。 ・介護保険被保険者に対して適切な介護サービスの提供が行われるよう、介護事業所への集団指導及び実地指導を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合事業の円滑な運営。 ・要介護認定者の増加の中、介護給付費の抑制を図ること。 ・介護給付適正化主要5事業の実施のための体制づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護人材の確保、総合事業の今後の展開等、高齢者保健福祉施策を一体的にとらえ、長期的な施策の検討を行う。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策		
						R3	R4	R5	R6	R7					合計	
						20	子育て・福祉・医療	高齢者福祉の充実	高齢者の生活支援	老人ホーム入所措置事業					高齢者福祉課	104,151
21	子育て・福祉・医療	高齢者福祉の充実	高齢者の生活支援	在宅福祉サービス事業	高齢者福祉課	1,108						1,108	<p>高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を継続できるように、緊急通報装置等の日常生活用具の給付・貸与や家回りの草取り等の軽度生活援助、福祉カーの貸付を行います。</p>	<p>・日常生活に支障のある高齢者等を対象として、緊急通報装置をはじめとする日常生活用具の給付・貸与を行った。 ・草刈り、剪定など軽度生活援助を実施した。 ・高齢者や障害者の家族に対し、車椅子に座ったまま車に乗れる軽自動車（福祉カー）の貸し出しを行った。</p>	<p>・緊急通報装置：12件（新規件数） ・軽度生活援助：37件（年間件数） ・福祉カーの貸し出し：93件（年間件数） ・事業の周知が課題</p>	<p>●日常生活用具給付等事業 ・在宅の要援護老人、一人暮らし高齢者等に対し、日常生活用具を給付又は貸与する。 ①IH調理器⇒心身機能の低下に伴い防火等の配慮が必要な低所得の一人暮らし高齢者等 ②火災警報器⇒低所得の寝たきり高齢者等 ③自動消火器⇒低所得の寝たきり高齢者等 ④緊急通報装置⇒一人暮らし高齢者等 ●軽度生活援助事業 ・在宅の高齢者に対し、軽易な日常生活上の援助の費用の一部を助成する。①家回りの草取り ②家回りの生垣、庭木等の手入れ ③家屋、備品等の軽微な修繕等 ④視覚に障害のある者に対する朗読及び代筆 ●福祉カー貸付事業 ・高齢者や身体障害者の外出や移動を支援するために、車椅子に対応した福祉カーを貸し付ける。 ≪利用対象者≫①心身障害者（児）及び高齢者並びにその家族 ②社会福祉団体及び社会福祉法人 ③社会福祉ボランティア ④その他市長が適当と認める者 ≪費用負担≫ 貸付料無料。ただし、使用した燃料費は利用者負担 上記事業について、広報等によりPRに努める。</p>

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						22	子育て・福祉・医療	障害者福祉の充実	障害福祉サービスの充実	館山市障害者計画の推進					社会福祉課
23	子育て・福祉・医療	障害者福祉の充実	障害福祉サービスの充実	障害者支援に関する事業	社会福祉課	1,263,622					1,263,622	『障害者総合支援法』に基づき、障害の状態に応じた各種福祉サービスの給付を行います。また、心身障害者（児）医療費の給付を行います。さらに、居宅や施設において、食事や入浴などの介護や日常生活上の支援を提供することにより、障害者等の生活の安定と自立支援を図ります。	・障害者総合支援法に基づき介護給付、自立支援医療給付等を行った。また、地域生活支援事業として、訪問入浴、移動支援、意思疎通支援、日常生活用具、配食サービス等を実施し、障害者等の生活の安定と自立を図った。	・財政面の確保 ・地域に相談支援事業所など社会資源が少ない	・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業の適正かつ安定的な運用を図る （介護給付・訓練等給付・自立支援医療・補装具） ・地域で生活する障害者のニーズを踏まえ、地域の実情に応じた事業を効率的・効果的に行う 地域生活支援事業（訪問入浴・移動支援・意思疎通支援・日中一時支援・日常生活用具・地域活動支援センター・配食サービス） ・障害者の医療費負担の軽減を図り、心身障害者の生活の安定と福祉の増進を図る ・各種障害福祉サービス等制度を周知するための情報提供の体制や相談支援体制の充実を図る。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						24	子育て・福祉・医療	障害者福祉の充実	障害福祉サービスの充実	障害児支援に関する事業					社会福祉課
25	子育て・福祉・医療	障害者福祉の充実	障害者の社会参加促進	地域生活のための支援事業	社会福祉課	56,757					56,757	障害者の社会参加の促進、福祉の増進や権利の尊厳を守るため、障害者団体に対する支援、福祉タクシーの利用助成による障害者の外出支援、各種福祉手当の支給、障害者の権利擁護に関する取組を行います。	・福祉タクシーの利用助成、障害者の移動支援、成年後見制度利用支援事業等を実施し、館山市身体障害者福祉会をはじめとする障害者支援団体に補助金等を交付した。	・財政面の確保 ・地域に相談支援事業所など社会資源が少ない	・各種障害者団体への補助 ・外出支援（福祉タクシー） ・GHの運営補助・家賃助成 ・各種福祉手当の支給 ・自立支援協議会の運営 ・障害者虐待対応の窓口等となる「障害者虐待防止センター」において障害者に対する保護及び自立の支援のための措置、養護者に対する支援のための措置等を行う。 ・不当な差別的取扱いの禁止・合理的配慮など市民への周知。対応要領や地域協議会設置の検討などを行い、障害者の権利の尊重と差別のない社会づくりを推進する。
26	子育て・福祉・医療	低所得者福祉の充実	低所得者福祉の充実	生活困窮者自立支援事業	社会福祉課	17,370					17,370	生活保護の受給に至らない生活困窮者に対する相談支援や住宅確保給付金の支給を行うとともに、支援内容の拡充を検討します。	・生活保護まで至らない生活困窮にある者の相談・支援窓口機能を果たしている。また、真に生活保護が必要な者への助言（つなぎ）の場となっている。	・社会福祉協議会における事業の周知	・生活困窮者自立支援法に基づく相談事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業の実施。
27	子育て・福祉・医療	低所得者福祉の充実	低所得者福祉の充実	生活保護事業	社会福祉課	1,107,858					1,107,858	生活困窮者に対し、状況に応じた扶助を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立に向けた支援を行います。	・最低限度の生活の保障及び自立の促進が図られた。	・特になし	・生活保護法に基づく要保護者に対する援助。（相談、保護の決定、各種扶助費の支給、就労支援等。）

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						28	子育て・福祉・医療	地域福祉の推進	地域福祉の推進	地域福祉に関する事業					社会福祉課
29	子育て・福祉・医療	地域福祉の推進	地域福祉の推進	館山市地域福祉計画の策定	社会福祉課	0					0	地域福祉の推進に取り組むための総括的な計画として『地域福祉計画』を策定し、推進します。	・令和4年度、令和5年度にかけて館山市地域福祉計画を策定し令和6年度より公表する。	・地域福祉計画を策定するにあたり、各地域で住民座談会を開催予定であるが、地域のニーズを把握するとともに、自助、共助、公助の理解を深め、館山市の福祉の方向性を住民と共有することができる。	・地域福祉計画策定委員会、策定検討部会の運営。
30	子育て・福祉・医療	地域福祉の推進	地域福祉の推進	自殺対策の推進	社会福祉課	0					0	『自殺対策計画』に基づき、生きることへの包括的な支援を進めるとともに、関連施策と連携した対策など、自殺対策を推進します。	・「自殺対策計画」については、「地域福祉計画」の中に含めることとし、策定に向けては、自殺対策強化交付金の活用をすることにした。	・自殺対策計画が策定できていないこと。	・自殺対策計画は、令和2年度中の完成を予定しているため、総合計画においては「自殺対策の推進」として、自殺対策計画を基にPDCAサイクルの実施など、事業の推進を図る。
31	子育て・福祉・医療	保健・医療体制の充実	医療体制の充実	救急医療体制の確保	健康課	162,860					162,860	安房郡市広域市町村圏事務組合に対し、救急医療に関する費用を負担し、休日や夜間の医療体制の充実を図ります。また、小児救急医療体制の実現や看護師確保に向けた取組の働きかけを行います。	・安房郡市広域市町村圏事務組合が実施する休日及び夜間における救急急病の診療事業に係る経費を負担した。 ・太陽会が実施する救急医療事業の運営に要する経費の一部を補助した。 ・看護師等の医療資源の安定的な確保を図るため、養成機関に適切な支援を行った。	・市民ニーズの高い小児救急医療体制の確保や看護師等の医療資源確保による地域医療の安定化など、安全・安心のまちづくり。	・救急医療については、安房郡市広域市町村圏事務組合の共同処理事務である病院群輪番制病院運営事業、在宅当番医制事業、夜間急病診療事業に係る負担金の支出や、市内の医療機関が行う救急医療事業の運営に要する経費の一部を補助し、休日や夜間における医療体制の維持・確保を図る。 ・市民ニーズの高い小児救急を含む小児医療体制の確保について、機会を捉えて市内の医療機関等に働きかける。安定的な救急医療体制の確保を図るため、看護師等の養成・確保に資する取組を継続的に行っていく。
32	子育て・福祉・医療	保健・医療体制の充実	医療体制の充実	看護師等修学資金貸付制度	健康課	10,568					10,568	看護師等養成施設に在学している看護師志望者に対し、修学資金の貸付を行い、市内をはじめ、安房地域での看護師の確保を図ります。	・入学時期に合わせて市広報に制度の概要を掲載した。	・猶予と返還免除者（安房郡市内に看護師として勤務者）の増加に伴い、貸付原資の確保が必要。 ・債権の管理。	・貸付利用要件・貸付金額（上限額）・返還免除要件など制度そのものの見直し等により、より効果的な原資の活用方法を検討していく。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						33	子育て・福祉・医療	保健・医療体制の充実	医療体制の充実	かかりつけ医の普及・定着	健康課				
34	子育て・福祉・医療	保健・医療体制の充実	医療保険制度の健全な運営	国民健康保険運営事業	市民課	6,008,323					6,008,323	被保険者の疾病などに対して必要な給付を行うため、国民健康保険制度の円滑で安定的な運営に努めます。	・国民健康保険被保険者の疾病、負傷、出産、死亡に対する必要な給付を行った。	・被保険者に必要な給付を行うことができた。 ・今後見込まれる国民健康保険被保険者数の減少や保険税収入の減少、被保険者の高齢化による医療費の増加に対応する必要がある。	・平成30年度から国民健康保険の財政運営の主体が千葉県に移行した。千葉県と協力して事業運営を行う。
35	子育て・福祉・医療	保健・医療体制の充実	医療保険制度の健全な運営	後期高齢者医療運営事業	市民課	1,485,900					1,485,900	高齢者に対する医療の確保と適切な保険給付を行うため、後期高齢者医療制度の円滑で安定的な運営に努めます。	・保険者である後期高齢者医療広域連合を通じて、後期高齢者医療制度加入者の疾病・負傷・死亡に対する必要な給付を行った。	・高齢化に伴う被保険者数の増加、医療費の増加に対応する必要がある。	・令和2年度より開始した保健事業と介護予防の一体的実施推進事業により、高齢者の健康保持・増進に努めていく。
36	子育て・福祉・医療	保健・医療体制の充実	医療保険制度の健全な運営	短期人間ドック助成事業	市民課	5,040					5,040	満40歳以上の国民健康保険被保険者や後期高齢者医療被保険者を対象に、短期人間ドックの費用助成を行います。	・国民健康保険、後期高齢者医療それぞれにおける本事業の対象者のうち、申請者に対し、受診費用の7割（上限額2万円）を助成した。 【国保】 200件 4,000,000円 【後期】 52件 1,040,000円	・総合検診や本事業により、健診の受診率の向上が望まれる。	・助成事業を継続し、より利用しやすい制度を検討していく。
37	子育て・福祉・医療	健康づくりの推進	コミュニティ医療の充実	コミュニティ医療推進事業	健康課	866					866	医療・介護・福祉関係者と行政・市民が一体となり、近隣市町などとの連携を深めながら、情報共有や人材確保を含めた医療資源の充実に取り組み、高齢化社会に対応した体制を構築します。また、「たてやま健幸ポイント事業」の実施により、市民の健康に対する関心を高め、健康的な生活習慣のきっかけづくりや維持・定着を目指します。	・新型コロナワクチン接種に関する健康プロモーションを実施した。また、ワクチンの取り扱いについて医療機関向けの講演会を実施し、円滑なワクチン接種の推進を図った。 ・たてやま健幸ポイント事業を継続して実施した。	・地域の課題が多岐に渡っており、庁内及び様々な関係者とのさらなる連携が必要である。	・健康・福祉・医療の各分野に係る市民ニーズの把握や課題の抽出・把握に努める。また、市民を含む様々な関係者との連携により、各種事業の実施を図る。 ・もって、市民の自らの健康に対する意識の向上を図るとともに、市民の健康寿命の延伸につなげる。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策		
						R3	R4	R5	R6	R7					合計	
38	子育て・福祉・医療	健康づくりの推進	保健活動の推進	健康増進事業	健康課	500						500	健康手帳の交付や健康教育、健康相談、機能訓練、訪問指導を実施し、生活習慣病の予防・健康増進に関する正しい知識の普及を図ります。また、健康状態をセルフチェックする「健幸サロン事業」を実施し、普段から健康を意識した生活の定着を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ・健診後の結果説明会や家庭訪問により、生活習慣病予防のための保健指導を実施した。 ・結果説明会の未利用者や拒否者に対しては電話連絡をし、健康状態の確認と保健指導を行った。 ・定例の「健幸サロン事業」に加え、出張版のサロンを実施し、より多くの市民に対して、健康増進のきっかけ作りができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため、中止が続いている健康教育や健康相談について、再開に向けて実施方法を検討する。 ・健幸サロン事業は定着しており、健康づくりの気づきの場になっているが、利用者の固定化が見られ、新規利用者の開拓が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診及び後期高齢者健診で抽出したリスクのある対象者に、ハイリスクアプローチとして保健指導を実施するとともに、広く市民に対して正しい知識の普及を図るポピュレーションアプローチを実施していく。 ・地域の健康課題をテーマに取り上げ、周知方法等に工夫を凝らしながら、実施していく。
39	子育て・福祉・医療	健康づくりの推進	保健活動の推進	地域ぐるみ健康づくり支援事業	健康課	1,942						1,942	保健推進員による赤ちゃん訪問を実施した。 保健推進員を対象に、生活習慣病予防や地域で取り組む介護予防について研修会を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため、中止になる事業が多く、保健推進員としての活動が制限されている。 ・保健推進員は区長推薦だが、人選に苦慮している。「自分たちの地区の健康づくり」という意識を持ってもらうことが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新任の保健推進員と地区担当保健師が密に連絡をとりながら、保健事業推進を図る。 ・保健推進員の活動内容の周知、区長など地区の中核となる人との連携を進める。 	
40	子育て・福祉・医療	健康づくりの推進	保健活動の推進	保健事業と介護予防の一体的実施の推進	健康課	71						71	高齢者の健康の保持・増進のために健診結果やレセプトデータなどを分析することにより、地域の健康課題を抽出・把握し、その解消に向けて保健事業と介護予防を一体的に実施することにより、健康寿命の延伸を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・健診結果やレセプトデータ等から対象者を抽出し、個別面接や家庭訪問を実施し、生活習慣病予防及び介護予防の観点から保健指導を実施した。 ・「通いの場」に出向き、フレイル予防のための健康教育や健康相談を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健指導の結果、介護リスクがある人に対し、関係機関につなげることができている。 ・地域の医療関係団体をはじめとする各種団体との連携を図ることが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康の保持・増進を図り、健康寿命の延伸につなげるため、各種データ等の分析により、地域の健康課題を抽出・把握し、その解消に向けて、保健事業と介護予防を一体的に実施する。 ・保健師等が地域の「通いの場」を訪問し、「フレイル」の予防や生活習慣病等の重症化予防のための健康相談や保健指導を実施する。 ・重複・頻回受診者に対し、健康相談・保健指導を行うほか、健診結果などのデータが無く、閉じこもりの可能性のある高齢者等を訪問し、個別的支援を行う。
41	子育て・福祉・医療	健康づくりの推進	予防活動の充実	生活習慣病対策	健康課	67,037						67,037	各種がん検診や特定健康診査、後期高齢者健康診査、健康診査等を実施し、市民の健康的な生活を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナワクチンの接種業務を優先し、感染対策や予約制などの通常と違う環境での検診等を実施した。 ・各種検診等の未受診者に対し、受診勧奨を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響もあり、特定健診等の基本健診の受診率は半減し、がん検診の受診率は低い状況である。 ・安心して受診しやすい体制を作る、継続した受診勧奨を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して受診しやすい検診体制の整備（感染対策、施設検診の拡大、検診精度管理等） ・周知方法の工夫と強化（ポスター・広報誌・ホームページ・SNS等） ・未受診者への受診勧奨強化（対象者に合せた受診勧奨）

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						42	子育て・福祉・医療	健康づくりの推進	予防活動の充実	予防接種事業	健康課				
43	子育て・福祉・医療	健康づくりの推進	予防活動の充実	感染症予防対策	健康課	76,147					76,147	<p>結核・肺がん検診の受診率向上に向けた取組や新型インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症対策等により、感染症の発生及びまん延の防止を図り、公衆衛生の向上に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの接種業務を優先し、肺がん・結核検診は通常と違う環境で実施した。 ・新型コロナウイルスの感染状況に応じた予防対策に関する啓発や相談・支援、衛生用品の備蓄や配付を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・結核・肺がん検診の受診者数は、前年度比で大きく改善したが、令和元年以前の受診者数まで達していない。 ・withコロナ対策 ・新型インフルエンザ等対策市町村行動計画に基づくマニュアルの整備と情報伝達訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・結核・肺がん検診の受診率向上に向け、周知や受診勧奨を行う。 ・対応マニュアルは毎年見直しする。 ・情報伝達訓練を継続する。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策		
						R3	R4	R5	R6	R7					合計	
						44	教育・文化	学校教育の充実	「生きる力」を育成する教育の推進	「生きる力」を育成する教育の推進					教育総務課	715
45	教育・文化	学校教育の充実	「生きる力」を育成する教育の推進	福祉・環境・キャリア教育の推進	教育総務課	0						0	学校での指導や職場体験学習を通じ、豊かな人間性や社会性をはぐくみながら、変化の激しい社会の中で、たくましく生きる力を育成します。	・コロナ禍により、職場体験学習は中止し、各学校の工夫による代替策を実施 （例：タブレット端末を活用しリモート方式による企業見学、講師を招聘した講演など）	・コロナ禍においても、各学校の工夫により児童生徒の社会性を育む活動を実施できた。 ・今後の職場体験については、コロナ禍の状況に応じて要検討	・ふれあい体験活動推進事業（中学生職場体験学習） ・ゆめ仕事びったり体験（小学生職場体験学習）
46	教育・文化	学校教育の充実	「生きる力」を育成する教育の推進	国際理解教育の推進	教育総務課	16,574						16,574	小・中学校に英語指導を行う外国語指導助手（ALT）を配置し、国際感覚豊かな児童生徒の育成に取り組みます。	① 各学校へのALT配置 <input type="checkbox"/> 人数：5名 <input type="checkbox"/> 小学校 週1日～2日 <input type="checkbox"/> 中学校 週4日 ② 英語教育指導推進コーディネーター <input type="checkbox"/> 人数：1名 （各校月1回巡回指導）	① 英語を母国語とする外国人の生きた英語に触れることにより、正しい英語知識の習得を図った。 ② 元中学校の英語教員を全小学校に派遣し巡回指導をすることで、令和2年度から必須となった小学校での外国語教育の授業力等向上を図った。	・引き続き、各学校へのALT配置や英語教育指導推進コーディネーターの配置により、英語教育の学力向上を図る。 ・英語教育のデジタル教科書の導入により、家庭学習の充実（リスニング・発音練習）を目指す。
47	教育・文化	学校教育の充実	「生きる力」を育成する教育の推進	情報（モラル）教育の推進	教育総務課	0						0	高度化する情報社会の中で、健全かつ有効に情報を活用していくための正しい知識と技術の習得、適切な判断力・活用力の育成を図ります。	・令和3年度から情報機器（タブレット端末）を活用した授業が開始されたことに伴い、各学校では実際の機器を使用した情報モラル教育を実施 ・市教委職員を各学校の生徒指導委員会へ派遣し、個別対策が必要な案件の対応策について協議	・国や県から提供される情報モラル教材やポスター掲示、リーフレットなどを活用した教育を実施し、正しい知識と技術の習得、適切な判断力・活用力の育成を図った。	・教職員向けの各種研修会により、情報モラル教育を実施 ・日常的な学校生活の中で繰り返し情報モラル教育を実施する。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						48	教育・文化	学校教育の充実	「生きる力」を育成する教育の推進	学校給食事業	教育総務課				
49	教育・文化	学校教育の充実	「生きる力」を育成する教育の推進	小・中学校体育振興の推進	教育総務課	3,212					3,212	<p>陸上競技大会の開催や県中学校総合体育大会等への参加促進により、児童生徒の体育実技及び体力の向上を図ります。</p>	<p>・各種大会への選手派遣費用を支援</p> <p>※ コロナ禍に伴う各種大会の中止により決算額減</p>	<p>・各種大会への選手派遣等により、体育実技のレベルアップと体力向上が図られた。</p>	<p>・令和4年度から委託料を補助金化し、体育振興会による選手派遣費に加え、各中学校での部活動備品購入費に対する支援を行い、体力・技術向上を図る。</p>

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						50	教育・文化	学校教育の充実	「生きる力」を育成する教育の推進	小児生活習慣病予防検診事業	教育総務課				
51	教育・文化	学校教育の充実	「生きる力」を育成する教育の推進	特別支援教育体制の推進	教育総務課	27,549					27,549	特別な支援を必要とする児童生徒への一貫した教育相談と支援体制を充実させるため、関係者・関係機関とのネットワークの構築を図ります。	① 特別支援員の配置 人数：35名 ※ 各校 1名～6名 (児童生徒の状況による) ② 巡回指導員の配置 人数：2名	① 特別支援員を配置し、円滑な授業をサポートした。 ② 巡回指導員を配置し、教職への指導及び子供の検査判定等を実施した。 ・特別な支援を要する子供の人数及び割合が年々増加傾向にある。	・令和4年度から教育総務課内に特別支援対策専門チームを設置し、支援を必要とする児童生徒の対策（幼児期での対応等）について検討を開始した。
52	教育・文化	学校教育の充実	「生きる力」を育成する教育の推進	教育相談体制の充実	教育総務課	7,101					7,101	スクールカウンセラーやいじめ相談室などを積極的に周知し、児童生徒の様々な悩み（学力や人間関係、いじめ等）に対する教育相談体制の充実を図ります。	① 不登校児への学習支援として教育支援センターに指導員を配置（2名） ② いじめ相談の相談窓口として相談員を配置（2名） ③ 学級実態把握によるいじめ等への対策として児童生徒の心理検査を実施 (年2回)	・教育支援センター及びいじめ相談室の運営等により、課題や悩みを抱える児童生徒や保護者への支援を実施 ・増加傾向にある不登校児への対策	・市が直接実施している事業に加え、県負担事業であるスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の人材を活用し、相談体制の充実及び関係機関との連携を図る。 ・市福祉部門との連携強化による切れ目のない支援体制の構築
53	教育・文化	学校教育の充実	「生きる力」を育成する教育の推進	児童生徒の安全対策の充実	教育総務課	0					0	災害・事故等に対する安全指導と、緊急時への備えを行い、児童生徒の安全確保に努めます。	① 県内における通学中の死亡事故を受け、通学路交通危険箇所の再点検を実施 (県・警察との連携事業) ② 災害時における学校と危機管理部門との連絡体制の構築	① 交通危険箇所の再点検を元に、各施設管理者において対策を実施 ② 各種警報等の発令が予測される場合に危機管理部と迅速な連携体制の元、学校への情報提供を実施	・各学校が作成済みの、危機管理マニュアルの確認、職員・児童生徒への意識啓発、訓練の継続実施
54	教育・文化	学校教育の充実	「生きる力」を育成する教育の推進	教職員研修の充実	教育総務課	0					0	教職員の資質・力量の向上を図り、特色ある教育活動を推進します。	・県教委及び市教委主催の各種階層別、分掌別研修を実施 (校長・教頭研修、学校経営研修、生徒指導主任研修、教務主任研修、特別支援教育研修など)	・教職員の資質、力量の向上が図られるとともに、研修を通じて、学校間の情報交換の機会となっている。	・引き続き、効果的な教育実践が営まれるよう各種研修の実施による資質向上を図る。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						55	教育・文化	学校教育の充実	教育活動の充実	地域資源・地域人材を活用した特色ある学校づくり					教育総務課
56	教育・文化	学校教育の充実	教育活動の充実	芸術・文化による豊かな心の育成	教育総務課	227					227	児童生徒へ優れた芸術・文化に接する機会を提供し、豊かな心の育成を図ります。 ・中学校合唱コンクール開催 ※ 音楽鑑賞教室、館山市文化祭「子ども音楽会」のいずれもコロナ禍により中止	・音楽活動を通じた情操の育成 ※ コロナ禍により芸術に触れる機会の提供が減少	・音楽鑑賞教室の開催（隔年6月開催） ・館山市文化祭「子ども音楽会」の開催 ・県吹奏楽コンクール参加支援及び各中学校合唱コンクールの開催支援	
57	教育・文化	学校教育の充実	就学・通学への支援	就学費援助事業	教育総務課	19,369					19,369	経済的な理由により、就学が困難な児童生徒に対し、学用品費や給食費等の援助を行います。 ・経済的な理由により就学困難な児童生徒に対し、必要な援助を行い、義務教育を円滑に受けられるように努めた。	・要保護・準要保護の認定率が、増加傾向にある。（平成26年4月：8.29%⇒令和3年3月：8.71%）	・経済的な事情が原因で就学に不自由を来すことのないよう、今後も制度の継続が必要。国の補助額（支給単価）改定に合わせ、拡充していく。	
58	教育・文化	学校教育の充実	就学・通学への支援	ふるさと創生奨学資金貸付事業	教育総務課	3,075					3,075	経済的な理由により、義務教育終了後の就学が困難な生徒に対し、奨学資金の貸付を行います。 ・令和3年度 3月末現在貸付者：12名 ・令和3年度 3月末現在返還者：45名	・昨今の厳しい経済状況の中で、学生への経済的な支援が重要となっている一方で、返還金の回収強化が課題となっている。	・経済的理由により就学の機会を失うことのないよう、制度を継続していくことが必要である。 ・一方、滞納額が増えており、数名の高額滞納者に対する督促が課題となっている。	
59	教育・文化	学校教育の充実	就学・通学への支援	遠距離通学支援事業	教育総務課	18,866					18,866	遠距離通学の児童生徒に対し、スクールバスの運行等により通学支援を行います。 ・スクールバス運行：房南小学校区の富崎・神戸地区の一部、豊房小学校区の畑地区、館山中学校（九重地区、畑・神余地区、西岬地区） ・支給対象者：小学校2km以遠、中学校4km以遠から通学する児童生徒（学区外通学者は除く） ・「スクールバス通学」は「無料」、「路線バス通学」においては「運賃の実費」を支給。また、「自転車通学」においては「維持管理費」の一部を支給	・遠距離通学に伴う保護者の負担軽減が図られた。 ・スクールバス運行により、通学する児童生徒の安全な通学手段を確保することができた。	・今後も、遠距離通学となる児童生徒に通学費を援助し、保護者の経済的負担を軽減する。	

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						60	教育・文化	学校教育の充実	教育環境の整備・充実	学校施設の整備充実					建築施設課／教育総務課
61	教育・文化	学校教育の充実	教育環境の整備・充実	学校用教材備品の整備	教育総務課	6,968					6,968	<p>新学習指導要領に基づく備品を計画的に整備し、快適な学習環境と教育効果の向上に努めます。</p>	<p>・概ね各校の要望どおりの備品を整備することができた。</p> <p>・老朽化した学校用備品の更新や必要な教材の購入を行い、学習環境の整備を図った。</p>	<p>・厳しい財政状況の中、平成30年度以降、計画的な整備が困難である。</p>	<p>・新学習指導要領に基づく備品を過不足なく整備する。</p> <p>・急な購入にも対応できるよう予算残額を学校間で調整できるよう柔軟な対応をする。</p> <p>・理科備品については文部科学省の基準にできるだけ近づける。</p> <p>・学校図書を整備する。</p>
62	教育・文化	学校教育の充実	教育環境の整備・充実	少子化に対応した教育環境の向上	教育総務課	82					82	<p>『館山市学校再編基本指針』に基づき、教育環境の向上を目的とした中・長期的な学校再編を検討します。</p>	<p>・「将来に向けた学校のあり方に対する基本指針」策定</p> <p>※ 令和4年3月</p>	<p>・市の方向性を定める指針の策定作業が完了し、令和4年度～6年度の3カ年により、具体的な再編計画の策定を行う。</p>	<p>・令和4年度：広報周知、地区説明会、各地区での検討組織の立上げ</p> <p>・令和4年度～6年度：各地区意見の集約及び具体的な再編計画の策定</p>
63	教育・文化	学校教育の充実	教育環境の整備・充実	学校区コミュニティの形成	教育総務課	200					200	<p>地域との連携・協力により、地域を挙げて次世代を担う児童生徒を育てる体制をつくります。</p>	<p>・各学校にて学校評議員を委嘱し、学校運営や教育活動に関する協議を実施した。</p>	<p>・地域住民が学校の運営状況を把握し、地域と学校との連携活動等の理解を深めた。</p>	<p>・引き続き、学校評議員制度を活用した地域連携を図る。</p> <p>・国が進める部活動の地域移行について、制度構築を進める。</p>
64	教育・文化	学校教育の充実	教育環境の整備・充実	情報教育環境の整備	教育総務課	73,462					73,462	<p>「GIGAスクール構想」の実現に向けて整備したICT環境を活用し、効果的な指導・学習を推進します。</p>	<p>・児童生徒一人一台タブレット端末を活用した授業を開始</p> <p>・タブレット端末を家庭学習で活用を図るため、関連機材を購入</p>	<p>・各種研修やICT支援員を活用し、タブレット端末を活用した授業を徐々に実施</p> <p>・ICT機器を活用した更なる効果的な学習を実施するため、全ての教職員が活用できる技術の習得が課題点</p>	<p>・館山市教育研究問題会（令和3年度～4年度）においてタブレット端末を活用した教材研究などを実施しており、ICT支援員を含め、学校現場での更なる活用を目指す。</p>

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						65	教育・文化	青少年の健全育成強化	青少年の健全育成	青少年健全育成体制の充実					生涯学習課
66	教育・文化	青少年の健全育成強化	青少年の健全育成	放課後子供教室の推進	生涯学習課	3,227					3,227	地域のひとともに勉強やスポーツ、文化活動、遊びなど、様々な体験ができる放課後子供教室を実施します。	新型コロナウイルス感染症の拡大により、感染症対策を講じながら実施をした。当初251回予定していた教室のうち、116回の開催となった。K P I：46.2%（参考R2 36.7%）	・子どもから人気もあり、参加率もいいことから効果はあるものと考えている。 ・学力向上を視野に入れた学校教育との連携及び学童クラブとの連携が必要である。 ・コロナ禍でも実施可能な内容の等の検討が必要である。 ・コーディネーターやボランティアスタッフ等の育成及び拡充を推進する。 ・学校規模（生徒数）による実施回数や必要なスタッフの数等に差が生じている。	・地域で健全な青少年を育成するため、学校・家庭・地域の連携と協働を強化し、学校を核とした地域づくりを推進する。 ・アフターコロナを見据えた事業の拡大を推進する。
67	教育・文化	青少年の健全育成強化	青少年の健全育成	ふるさと体験活動の推進	中央公民館	14					14	子どもたちの郷土への誇りや愛着心、「生きる力」をはぐくむため、自然や歴史、文化、農業体験等、幅広い分野の体験講座を開催します。	・新型コロナウイルス感染症の影響及び悪天候により、たてやまワクワク探検隊（ホテル観察会）のみ開催した。	・参加対象者が成長し、対象世代は変わっているが、体験メニューがマンネリ化している。 ・事業内容が自然体験教室に偏っている。	・子どもたちが恵まれた地域資源を体験活動を通して学びながら、郷土への愛着心や生きる力をはぐくむための体験講座を提供する。 地域の自然や歴史、文化、農漁業体験等幅広い分野での体験講座の実施。 ・関係課等との連携のほか、NPOや市民団体など協力を模索し、「ふるさと館山」を広く理解してもらえる事業の構築。 ・青少年が自ら考え、解決する能力をはぐくむことのできる体験講座の企画。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						68	教育・文化	生涯学習の推進	学習機会の提供	生涯学習講座・教室の開催					中央公民館／図書館
69	教育・文化	生涯学習の推進	学習機会の提供	家庭教育事業の推進	中央公民館	1,411					<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級の開設支援や子育て支援講座「ハッピーファミリー」を開催した。 ・家庭教育や子育てに対する相談窓口の運営を行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止となった講座があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や青少年、児童を取り巻く環境の変化への対応が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級や子育て支援講座等の実施による家庭教育の知識向上と併せて、学校、家庭、地域、関係機関での子育て支援の連携を強化し、子どもを取り巻く環境把握や子育てについての情報提供と相談窓口の充実を図る。 (具体的な内容・その他の検討事項) ・家庭教育学級や子育て支援講座等の実施により、家庭教育の知識向上と併せて、親同士が気軽に語り合う場や学びの輪づくりを目指す。 ・子どもを取り巻く環境把握や子育てについての情報提供と相談窓口の充実。 ・学校、家庭、地域、関係機関での子育て支援の連携強化。 		

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						70	教育・文化	生涯学習の推進	学習機会の提供	児童サービスの充実					図書館
71	教育・文化	生涯学習の推進	学習機会の提供	図書館機能の充実	図書館	8,605					8,605	<p>市民の「読みたい」「知りたい」「調べたい」という知的好奇心にこたえられることのできる資料を収集・提供するとともに、図書館資料を使っての調査相談（レファレンス）サービスの提供やインターネットによる蔵書検索・予約、図書館システムの活用による効率的な資料管理により、市民の多様なニーズに対応した資料や情報の提供を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総所蔵点数及び貸出数は前年度を上回ることができた。 ・総所蔵点数162,895点、総貸出点数：95,409点、電子図書資料点数：1,510点、電子図書貸出点数：1,240点 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行システムではデータ蓄積数が上限を迎えつつあることや機器の老朽化により、安定的な資料管理を行うためにも、図書館システムと機器の入替が早急が必要となっている。 ・施設の老朽化や経年の蓄積等により、収蔵能力が限界を迎えているため、除籍を進める必要がある。 ・図書館資料と利用者をつなぐための司書は知識を蓄積し、地域事情にも精通していることが必要であり、専門職としての確固たる位置づけと継続的な育成・配置が必要である。 ・学校や館山市HPを通じ、電子図書の普及に努める。 ・新鮮で豊富な図書等の提供が可能となり、市民の知的学習活動が活発に展開され、市民の課題解決につながり、地域の発展に寄与する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館機能は、資料・建物・人（利用者及び職員）があって果たせるものであるため、バランスの取れた新鮮な蔵書構成を心がけ、適切な管理をしながら利用者に提供をしていく必要がある。 ・図書館システムを活用しての資料の適切な管理（貸出・返却・受入・除籍等） ・図書館資料を活用して、市民が暮らしの中の課題を見つけ、解決できるよう支援したり、調査研究に資料をもって応えるレファレンスサービスの更なる充実 ・市の各部署や他の社会教育施設との連携による情報提供・資料収集の充実 ・他の公共図書館との連携による相互協力システムの活用 ・館山市HPや学校を通じ、電子図書の普及に努める。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						72	教育・文化	生涯学習の推進	学習活動の支援	サークル活動の支援	中央公民館／博物館				
73	教育・文化	生涯学習の推進	学習活動の支援	生涯学習ボランティア制度の充実	生涯学習課／博物館	162					<p>学校への支援や多様化する学習ニーズに対応するため、市民の豊富な知識や経験等を活用する仕組みづくりを進めます。また、ミュージアムサポーターを拡充することにより、博物館事業の充実を図ります。</p>	<p>【生涯学習課】 ・80講座（市：59講座、市民ボランティア21講座）を開設した。 ・51回の講座申込があったが緊急事態宣言等により37回、570人が参加となった。 ・防災講座や手話サークルの講座などは複数回開催した。 【博物館】 ・ミュージアムサポーター「絵図士」文化財マップを作成し、本館での展示、配付、及び博物館ホームページでの公開を実施した。成果品5作品 ・ミュージアムサポーター「甲冑士」新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、歴史教室「甲冑を着よう」開催を中止した。会員の高齢化等の理由で、「甲冑士」を解散した。</p>	<p>【生涯学習課】 ・豊富な知識、経験等を有する市民は潜在していると考えられるが、それら人材のより一層の活用が必要となっている 【博物館】 ・豊富な知識、経験等を有する市民は潜在していると考えられるが、それら人材のより一層の活用を図る。 ・サークルリーダーの育成</p>	<p>【生涯学習課】 ・出前講座等、生涯学習に関する市民活動の拡充を図るため、市民の学びの機会を提供する仕組みづくりや利便性の向上に努める。 【博物館】 ・ミュージアムサポーターの活動を継続する。 ・指定管理者自主事業との協働も視野に入れ、さらに魅力アップした事業展開を図る。</p>	

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						74	教育・文化	歴史の継承と文化の振興	歴史・文化の保存・継承	郷土に関する展覧会・講座等の充実	博物館 ／中央 公民館				

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						75	教育・文化	歴史の継承と文化の振興	歴史・文化の保存・継承	郷土資料の収集・保存と提供					博物館／図書館

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						76	教育・文化	歴史の継承と文化の振興	歴史・文化の保存・継承	博物館機能の充実					博物館
77	教育・文化	歴史の継承と文化の振興	歴史・文化の保存・継承	文化財の保存・活用	生涯学習課	454					454	文化財の調査・指定により、修復や防災対策等、保存に必要な措置を計画的に行います。また、活用を図るため、広く市民が文化財に親しむ機会を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の案内看板を設置したほか、文化財周辺の環境整備を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県・市の指定文化財や登録文化財を合わせると100箇所以上となるため、巡回等により計画的に看板の設置や補修を図っていく必要がある。 ・看板の設置により文化財の周知が図られた。 ・文化財周辺の環境整備を行い、文化財の適切な保存と来訪者への理解が深められた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・所有者（管理者）の理解、協力のもと、適切な文化財の保存、整備と活用を図る。 ・文化財の新たな指定と登録を検討する。 ・歴史、文化資源のネットワーク化による館山市の歴史文化の情報発信に努める。
78	教育・文化	歴史の継承と文化の振興	歴史・文化の保存・継承	観光スポットとしての歴史文化遺産の活用	生涯学習課	138					138	寺社、戦国大名里見氏、青木繁「海の幸」、近代の戦争遺跡等に関連する歴史文化遺産や市内から輩出した偉人の歴史学習を推進するとともに観光やまちづくりに活かします。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、赤山地下壕跡を公開し、券売機の整備を行った。 ・ポストカードを作成し、歴史学習を推進した。 ・館山城と連携し、赤山地下壕跡の情報発信を行い、周辺の見学ルートの提供を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度から受付業務を業務委託したため、受託者との連携が重要となる。 ・また、施設についても入場者数の増加に対応した整備が必要となる。 ・市外から入場者も多く魅力ある資源として活用を図れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「赤山地下壕跡」を拠点に、周辺の博物館や文化財史跡等を見学するためのルート整備を進めていく。 ・市有形文化財「小谷家住宅」の一般公開に係る取り組みの支援を促進する。 ・利用（観光）客が手軽に情報収集できる情報発信ツールの強化を行う。 ・NPOや市民団体、観光関係団体と連携を図っていく。 ・説明案内ボランティア等の育成を進めていく。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						79	教育・文化	歴史の継承と文化の振興	歴史・文化の保存・継承	民俗芸能伝承者の育成	生涯学習課				
80	教育・文化	歴史の継承と文化の振興	歴史・文化の保存・継承	国史跡「里見氏城跡 稲村城跡」の保存・整備	生涯学習課	454					454	<p>地権者や地域住民、市民団体と連携し、適切な保存管理を行います。また、広域連携により、国史跡「里見氏城跡」の整備・活用による地域活性化に向けた検討を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携し保存管理を行った。 南房総市と連携し、里見氏城跡の整備・活用の検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 史跡として整備していくためには権利関係の整理が必要である。 また、南房総市にある国史跡岡本城跡との連携した整備も必要となる。 管理委託により、史跡の適切な保存管理が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民参加型の史跡保存整備のため、稲区への管理委託の継続と市民活動への支援を行う。 指定範囲を拡大し史跡の保存管理を万全とするため、未指定地の土地所有者の理解と同意を得る取組みを検討する。 観光資源として活用を促進するため、来訪者に必要なガイダンス施設やトイレなどの便益施設の整備や、南房総市の国史跡「里見氏城跡 岡本城跡」をはじめとする戦国大名里見氏に関する城郭群の保存・活用のネットワーク化等のため、整備基本計画の策定を行う。
81	教育・文化	歴史の継承と文化の振興	歴史・文化の保存・継承	歴史・文化情報の発信強化	博物館	35					35	<p>館山市の歴史・文化に関する情報を、博物館が運営するWEBサイト「たてやまフィールドミュージアム」において発信し、地域の魅力発信に努めます。また、文化庁が運営するポータルサイト「文化遺産オンライン」に博物館収蔵資料の一部を掲載し、以前から要望のあった南総里見八犬伝、戦国大名里見氏、郷土史関連の収蔵資料をインターネットで公開します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 博物館が調査、収集した地域の歴史、民俗等の情報を、「たてやまフィールドミュージアム」として公開し蓄積した。 文化庁が運営するポータルサイト「文化遺産オンライン」に館山市立博物館収蔵資料の一部を掲載し、以前から要望のあった里見八犬伝、戦国武将里見氏、郷土史関連の収蔵資料をインターネットで公開している。 学芸員による博物館企画展概要、見どころ紹介動画を館山市公式YouTube（市HP）で公開している。 	<ul style="list-style-type: none"> 博物館研究成果、収蔵資料等を効率的に整備する。 資料データベースを更新、維持管理する。 	<ul style="list-style-type: none"> 館山市ホームページの他にFacebook、生涯学習課ブログ等のSNSにおいて、博物館研究成果、収蔵資料情報等を即時情報発信する。 講座、教室をインターネット上に配信する。 指定管理者ホームページとの連携を図る。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						82	教育・文化	歴史の継承と文化の振興	文化の振興	芸術文化活動の充実	生涯学習課				
83	教育・文化	歴史の継承と文化の振興	文化の振興	全国大学フラメンコフェスティバルの開催	生涯学習課	0					0	館山市の温暖な気候と、「学生フラメンコのまち館山」のイメージを情報発信し、学生フラメンコをきっかけとした交流人口・関係人口の拡大を図ります。	・参加者が年々減少していく傾向にあり、また、特定の関係者の尽力により維持している部分もあるので、今後の事業の継続に対する対策が必要である。 ・主要メンバーの変更や学生の参加状況の変化等により開催できる内容・規模等の検討が必要となっている。	・温暖な気候と南欧風のまちづくりエリアとマッチするフラメンコフェスの開催地としてのイメージを発信し、交流人口の拡大に努める。 ・令和4年度からこれまでの委託事業から補助事業に変更となったことから、今後の実施内容・規模等により予算措置が必要となる。	
84	教育・文化	スポーツの振興によるまちづくり	市民スポーツの振興	生涯スポーツの機会提供	スポーツ課	1,064					1,064	「館山ファミリースポーツクラブわかしお」の活動支援や各種スポーツ大会の開催など、スポーツに親しむ機会を提供し、市民の健康・体力の保持増進を図ります。	・スポーツ推進委員等と連携し、高齢者社会に対応した生涯スポーツを推進した。 ・総合型地域スポーツクラブ「館山ファミリースポーツクラブわかしお」活動の支援活動を行った。 ・スポーツ健康都市宣言1周年記念イベントとして、ロゲイニング大会を実施した。	・スポーツ推進委員の確保、指導者の減少及び高齢化が課題となっている。	・コロナウイルス感染拡大防止のためスポーツ教室やイベントの中止、また体育施設等の利用が停止となり、市民がスポーツに関わる機会が失われている。当面は、身近な場所での運動の啓発を行い、その先では、市民ニーズやスポーツ環境等の状況変化を捉え、安心安全にスポーツを親しめる機会を提供する。 ・コロナショックにより、市民一人ひとりの健康に対する意識が高まる中、新たな日常に即した個人の運動習慣の機運醸成を図るため、ラン&ウォーク案内看板を設置する。 ・スポーツ推進委員等の指導者に各種研究大会や講習会等への参加を促し、指導者の養成及び資質向上に努める。
85	教育・文化	スポーツの振興によるまちづくり	市民スポーツの振興	社会体育団体の育成支援	スポーツ課	6,872					6,872	社会体育団体の育成・支援を通じ、市民の健康・体力の保持増進や競技力向上、青少年の健全育成等を図り、活力ある社会の実現を目指します。	・館山市スポーツ協会（R3：24団体・会員約3,800人）、館山市スポーツ少年団（R3：21団体・団員333人・指導者81人）への補助金を交付し、活動を支援した。	・少子高齢化により会員数が減少傾向となっている。	・各団体とスポーツイベントを共同開催することにより、連携を強化し、社会情勢や各団体の活動状況に応じた育成・支援に努める。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						86	教育・文化	スポーツの振興によるまちづくり	市民スポーツの振興	社会体育施設の整備充実	スポーツ課				
87	教育・文化	スポーツの振興によるまちづくり	市民スポーツの振興	学校体育施設開放	スポーツ課	454					454	小・中学校の体育館・グラウンド・プール等を市民に開放し、市民の健康増進や体力づくり、地域に密着したスポーツ・レクリエーション活動を推進します。	・コロナ禍における感染対策を行いながら、年間を通して市民の健康増進やスポーツ活動の場の提供を行った。	・学校体育施設の利用に当たって、学校施設・備品の使い方や整理整頓などの利用マナーについて、利用団体に対し、改めて周知徹底していく必要がある。	・効率的、効果的な利用が図られるよう、利用調整会議を開催する。 ・学校教育活動に支障がないよう学校との連絡を密にし、利用団体への情報提供や周知を徹底し、より円滑な運用に努める。
88	教育・文化	スポーツの振興によるまちづくり	スポーツ観光の推進	オリンピック・パラリンピックのレガシー（遺産）を活かしたまちづくり	スポーツ課	10,858					10,858	観光施策と融合したスポーツ観光を推進し、館山湾をはじめとする自然環境や既存体育施設等の有効活用により、対応可能な競技の事前キャンプ等の誘致を進めます。また、市民のスポーツへの関心を高め、健康増進や体力づくり、競技力の向上に努めます。さらに、事前キャンプの実績を、館山の良好な自然環境と関連付け、来訪者向けに情報発信していきます。	・2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が1年延期され、2021年の開催直前においても、オランダトライアスロンチームが、事前キャンプを館山市内で実施した。 ・「Sports in Life」プロジェクトとしてコロナ禍において、新しい生活様式を踏まえたスマートフォンアプリを活用した、ウォーキング・ランニングイベントを実施した。	・サイクルツーリズムについて、競技団体に加え、一般サイクリストの集客を目指し、さらにPRする必要がある。 ・スポーツ及び健康増進に関する行動に効率的にアクセスできる環境を整え、市民の関心を高めることが重要となる。 ・スポーツ観光の交流人口の拡大に向け、競技関係団体のほか、関係機関との連携体制の強化をしていく必要がある。	・オリンピック・パラリンピックのレガシーを活用した事前キャンプ地としての館山の知名度の向上につなげる。 ・スポーツ目的で訪れる交流と観光施策との融合により交流人口の増加と経済活性化につなげていく。 ・併せて、市民自らが自然環境を含めた館山のポテンシャルを再認識し、スポーツへの興味・関心を高め、継続した体力づくりや健康増進・競技力の向上を図っていく。 ・スポーツを「する」「見る」「支える」ためのスポーツボランティアの育成 ・東京オリパラの開催を契機として、スポーツ健康都市を令和2年11月3日に宣言。 ・スポーツ観光客数の目標値37.7万人を達成するため、競技関係者に加え、一般サイクリストなどにも館山を知ってもらうため、近隣（東京・神奈川等）のサイクリング団体などに働きかけ、来訪者の増加につなげていく。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7	合計					
						89	教育・文化	スポーツの振興によるまちづくり	スポーツ観光の推進	館山若潮マラソン大会の魅力向上	スポーツ課					4,846
90	教育・文化	スポーツの振興によるまちづくり	スポーツ観光の推進	スポーツイベントの開催	スポーツ課	118						118	自然環境や既存体育施設等を最大限に活かし、スポーツ愛好者からトップアスリートまで、幅広い層の交流人口の拡大を目指します。	・若潮旗争奪千葉県剣道大会は、中止。 ・若潮旗争奪関東中学生剣道大会は、当初、開催見込みであったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。	・少子化に伴う地元剣道競技人口の減少、学校統廃合による審判員の確保が課題となっている。	・コロナウイルス感染拡大防止により全国各地のスポーツイベントが長期間に渡り中止となっているため、参加者等のニーズ及び動向を把握できない現状にある。今後、業務を進める中で可能な限りニーズ及び動向の情報を収集し、安全な大会を開催できるよう準備を行う。 ・スポーツイベントを開催するうえで、関係団体と協議し、内容の充実及び効率的な運営を行う。
91	教育・文化	国際交流・地域間交流の促進	国際交流・地域間交流の促進	国際交流の推進	市民協働課	66						66	館山国際交流協会の活動を支援し、スポーツや文化活動、ホームステイを通じた姉妹都市交流など、市民レベルでの交流を行うことにより、次世代を担う子どもたちや若者に対して異文化への理解を促します。また、オリンピックを機に海外のトップアスリートが館山で事前キャンプを実施していることから、彼らとの関係を継続するなど、新たな交流者・協力者を増やすことにより国際交流の裾野を広げていきます。	・姉妹都市間の学生によるオンライン交流を行った。 ・姉妹都市へのグリーティングカードの送付など、館山国際交流協会とも連携することで、継続しての交流を実施した。	・新たな交流者・協力者を獲得し、国際交流協会の新規会員、国際交流の新たな担い手として、関係を継続させていく手段の構築が必要。	・これまで続けてきた国際交流協会を中心とした姉妹都市との交流事業の継続

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						92	教育・文化	国際交流・地域間交流の促進	国際交流・地域間交流の促進	多文化共生のまちづくり	市民協働課／危機管理課				
93	教育・文化	国際交流・地域間交流の促進	国際交流・地域間交流の促進	国内都市との交流の推進	市民協働課／危機管理課	0						国内の友好自治体等とのイベントに相互参加することにより、地域間交流を推進するとともに、館山市の知名度向上とイメージアップを図ります。また、「災害時相互応援協定」を締結している自治体に対し、災害発生時の人的・物的支援を行います。	・丹波篠山市がスポンサーシップ契約をしたイベントに参加し、人的交流を図った。	・現状の取組以外に、住民もより巻き込んだ都市間交流の模索が必要と考えられる。	・交流対象としているイベントを精査し、新たな事業・イベントでも都市間交流を実施する。 ・可能であれば、自治体間での職員交流などを行いたい。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						94	産業・経済	観光の振興	海の魅力を活かし、観光振興	「館山湾振興ビジョン」に基づく海辺のまちづくりの推進	観光みなど課				
95	産業・経済	観光の振興	海の魅力を活かし、観光振興	海路の充実	観光みなど課	961					961	<p>旅客船の定期航路化・寄港船舶の増加に向けた取組を行うとともに、季節運航の利用客増加に向けた積極的なPRを行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・船会社等にポートセールスを実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により船舶の寄港中止が相次いだ。 ・レンタサイクルの活用により“渚の駅”たてやまからの二次交通の充実を図った。 ・二次交通の充実、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ市内経済の早期回復のため、着地型バスツアー造成プロモーション事業補助金を交付した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年ぶりに高速ジェット船「春の季節運航」が実施された。 ・引き続きウイズコロナ・アフターコロナを見据え、より効果的かつ強力にポートセールスを行う必要がある。 ・船舶利用者等が利用可能な駐車場が不足している。 ・高速ジェット船季節運航を地域経済活性化に繋げるための効果的なPR実施及び着地型観光メニューの開発が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・船会社へのこれまで以上に積極的なポートセールスを展開していく。（クルーズ船・官公庁船） ・季節運航の利用客を増加させるため、より積極的、効率の良いPRを行う。 ・館山下船者数の増加を図り地域経済活性化を目指す。 ・船会社と館山での下船者を増やすツアー企画の造成を行う。また、ツアー造成時期を見直し、周知期間の延長を図る。（高速ジェット船） ・JR館山駅から客船ターミナルのある“渚の駅”たてやまへの二次交通の充実。（定期路線バスの増便）

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						96	産業・経済	観光の振興	海の魅力を活かした観光振興	海岸利活用事業					観光みなど課
97	産業・経済	観光の振興	海の魅力を活かした観光振興	海・浜空間利用者のマナー向上	観光みなど課	109					109	<p>千葉海上保安部館山分室、千葉県警察館山警察署、千葉県、民間団体等の関係機関と連携し、安心・安全に楽しめる海・浜空間の確保に向けた取組を実施します。また、海・浜空間利用者のマナー向上を図るため、『安心・安全な館山の海水浴場の確保に関する条例』及び「海・浜のルールブック」の普及・啓発に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市内4カ所の海水浴場を8月2日から開設中止としたが、マナー等の啓発活動を継続するため、海水浴場監視監によるパトロールを継続実施した。 ・ゴールデンウィークや海水浴場開設期間及び開設中止期間を含め、海・浜の利用者が増加する時期をメインに、関係機関と連携し、合同パトロールによる啓発活動を実施した。（令和3年度 6回実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発活動により、関係団体との継続的な連携や来訪者の3密回避など一定の成果が得られた。 ・水上オートバイや小型ボートなどのマリネジャーについては、それ自身が違法行為ではなく、一部のルールを守らない者が問題であり、かつ、他の計画事業において、マリネジャーを観光資源としてとらえていることから、一様に排除することが難しい。 ・市内の海岸全体を条例適用範囲とし、条例の実効性を高めるには海岸管理者である千葉県との調整が必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海浜パトロール等における啓発活動は、指導に強制力が伴わない等の点において活動効果に限界があるが、GWや海水浴場開設期間の海・浜の利用者が増加する時期を中心に、関係機関と連携して、合同パトロールや、海水浴場監視監（警察OB）による指導・監督を継続し実施していく。 ・引き続き条例適用範囲外の海・浜ルールブックの周知及び啓発活動を行っている。 ・キャンピングカーなど大型車両による駐車場の複数区画使用の改善対策や受益者負担に基づく駐車場の有料化について、引き続き千葉県に要望していく。
98	産業・経済	観光の振興	海の魅力を活かした観光振興	水上オートバイ対策	観光みなど課	291					291	<p>海水浴客と水上オートバイ利用者のエリア分けの可能性及び水上オートバイの適正な運航やマナー向上について、千葉海上保安部館山分室、千葉県警察館山警察署、千葉県、漁協や民間団体等の関係機関、利用者、事業者と協議・検討する場を設けるとともに、海岸管理者である千葉県に対し、水上オートバイの危険操縦や騒音等を規制するための条例制定、登録制の導入などについて要望を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携した合同パトロールにより、水上オートバイの危険航行防止の啓発活動を実施した。 ・水上オートバイの危険な上げ下ろし防止対策として八幡海岸駐車場に車止めを設置し対策を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対策実施により水上オートバイの危険な上げ下ろし作業の防止効果があった。 ・水上バイクの危険な航行や一部の悪質なマナー違反者により、海水浴客の安全や周辺住宅への騒音問題が課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水上オートバイの航行自体は違法ではないことから、禁止することはできないと考えているが、計画案のとおり海岸利用者の棲み分けの可能性や関係機関と連携したマナーの向上の協議、検討を行うと共に、海岸管理者である千葉県に対し、条例制定などを要望していく。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						99	産業・経済	観光の振興	海の魅力を活かした観光振興	海水浴場の開設					観光みなど課
100	産業・経済	観光の振興	海の魅力を活かした観光振興	特定地域振興重要港湾館山港の整備・利用の促進	観光みなど課	25,332					25,332	<p>旅客船や多様な船舶の寄港に関わるポートセールスを推進するとともに、「館山夕日栈橋」の整備拡充に向けて、国・県への要望活動を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 船会社、関係官庁等に対する、ポートセールスを継続したが、新型コロナウイルス感染症の影響により船舶の寄港中止が相次いだ。 千葉県の実施する館山港修築工事について経費負担した。 『館山港港湾振興ビジョン』に掲げた栈橋規模への拡充について、国・県へ整備促進を要望した。 	<ul style="list-style-type: none"> 国・県への要望活動を継続し、令和3年度においては、栈橋先端部の一部拡幅が事業化された。 事業主体（港湾管理者）が千葉県であるため、千葉県で予算化されないと、整備が進まないため、引き続き、機会をとらえて積極的に要望活動を行っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年4月に「館山夕日栈橋」が供用開始されたが、『館山港港湾振興ビジョン』に示された栈橋規模にはなっていないことから、今後も、港湾管理者である千葉県に栈橋拡張、いわゆる「フルスペック化」について、継続して要望をしていく必要がある。 新たに小型船舶係留施設が整備されたことで、プレジャーボート等の寄港の促進に繋げていきたい。 費用対効果を考えた官公庁船の寄港誘致が必要である。 観光資源とのネットワーク構築と後背地の連携強化が必要である。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						101	産業・経済	観光の振興	観光の魅力を高める資源の活用	観光産業活性化支援事業					観光みなど課
102	産業・経済	観光の振興	観光の魅力を高める資源の活用	広域連携による観光プロモーション	観光みなど課	1,440					1,440	<p>近隣市町や民間団体に組織する南房総観光連盟、宿泊・滞在型観光推進協議会等において、より効果的な取組について検討し、広域的な観光振興を図ります。</p>	<p>・南房総観光連盟ではサイクルツーリズムの推進、宿泊・滞在型観光推進協議会では東京湾フェリーとの連携による各種観光プロモーションを実施した。それぞれの団体で実施した事業は、広域でのガイドブックの作成、合同キャンペーンやyoutuberを活用したプロモーション等を実施した。</p> <p>・宿泊・滞在型観光推進協議会において、南房総早春デジタルスタンプラリーを実施した。</p>	<p>・広域での一体的な観光プロモーションが図られた。特にyoutuberを活用したプロモーションでは、数多くの視聴により、効果的な観光プロモーションが図られた。（南房総観光連盟は2.2万回、宿泊・滞在型観光推進協議会は1.5万回）</p> <p>・広域連携による観光入込客数及び宿泊客数の増を図るため、観光地としての魅力を高め、効果的なプロモーションができるかが課題である。</p>	<p>・引き続き、広域での一体的な観光プロモーションの実施による観光誘客の促進に努める。</p>
103	産業・経済	観光の振興	観光の魅力を高める資源の活用	インバウンド観光の推進	観光みなど課	70					70	<p>台湾をメインターゲットとしたインバウンド観光を推進するとともに、館山インバウンド協議会等との協働による誘致活動を継続することにより、外国人観光客の増加に努めます。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により各種事業を実施することができなかったが、コロナ収束後、すぐにインバウンド事業が実施できるようSNSでの情報発信やオンラインでの交流を行った。</p> <p>・台北駐日経済文化処副代表の訪問を受けた。</p>	<p>・台湾政府関係者を含め、台湾との人脈強化が図られた。</p> <p>・外国人の南房総に対する知名度が低い。</p> <p>・館山インバウンド協議会の会員が少ないなど、ハード・ソフト両面での受入体制の強化が必要である。</p>	<p>・訪日のリピーター率が高い台湾からの誘客を図るため、ブロガー等個別の人物・団体へのPR、人脈形成維持強化、館山インバウンド協議会等との協働による誘致活動について、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら再開する。</p> <p>・誘致活動を通じて、インバウンド観光の機運を醸成し、館山インバウンド協議会の会員増及び民間宿泊等施設の外国人観光客の受入体制の強化に努める。</p>

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						104	産業・経済	観光の振興	観光の魅力を高める資源の活用	体験型ツーリズムの促進					観光みなど課
105	産業・経済	観光の振興	観光の魅力を高める資源の活用	グリーン・ブルーツーリズムの推進	農水産課	0					0	<p>農作業体験や市民農園等の観光農業、観光定置網等の観光漁業などと連携した体験観光を推進し、交流人口の増加に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民間団体が実施する農漁業体験、収穫体験に対して情報の集約及び積極的なPRを行う等の支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の市場出荷に加え、観光農業に対する意識の醸成と他産業との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間団体が実施する農作業体験に関する情報の集約及び積極的なPRを行わない必要に応じて支援をする。 ・農家民宿に関する情報の集約及び積極的なPRを行なうことにより、滞在型の体験農業を推進する。 ・市内農産物直売所をホームページなどによりPRし地産地消を推進。 ・観光定置網、釣り船等の既存メニューの充実を図るとともに、磯遊び、漁業体験などの新たな取り組みの他、漁港機能の多目的利用を検討し、農漁村の活性化と地域全体の振興を図る。
106	産業・経済	観光の振興	観光の魅力を高める資源の活用	観光施設管理事業	観光みなど課	65,296					65,296	<p>来訪者が迷わず安心して観光施設巡りができるよう、観光施設案内サイン等の充実を図ります。また、来訪者が快適に過ごせるよう、公衆トイレの美化及び洋式化を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・来訪者の利便性と快適性を高め、市のイメージアップを図るため、公衆トイレの洋式化と日々の清掃を実施した。 ・来訪者の市内周遊による、滞在時間の拡大を図るため、観光案内看板等の更新や維持管理に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内観光スポットを巡る観光案内看板等の維持管理により、ウォーキングを目的とした来訪者の集客に効果があった。 ・多くの外国人に来訪してもらえるよう観光案内看板の多言語化を推進していく必要がある。 ・社会のIT化が進む中、既存看板類の存続を再検討する必要がある。 ・老朽化が進む既存施設の適切な維持管理が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の適切な維持管理や利便性の向上により、観光地としての魅力向上を図る。 (具体的な内容) ・温暖な館山のイメージを定着させるため、房総フラワーラインなどの道路や駅前ロータリーに花卉を植栽する。 ・公衆トイレの美化や改修等による快適性の向上から、観光地としての魅力を向上させることにより、滞在期間の延長、宿泊客の増加、来訪リピーターの獲得を目指す。 ・来訪者が多数訪れる沖ノ島の自然環境保全に活用するため、趣旨に賛同する来訪者から「沖ノ島環境保全協力金」の受付を行う。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						107	産業・経済	観光の振興	ブランド化の推進	食のブランド化の推進	食のまちづくり推進課				
108	産業・経済	観光の振興	ブランド化の推進	「館山ふるさと大使」・「館山ふるさと特使」制度による館山市のPR及び域内活動の活性化	企画課						0	<p>国内外で活躍している館山市出身または館山市にゆかりのある方に大使・特使を委嘱することにより、全国に向けて館山市の魅力を発信します。</p>	<p>・令和3年度は大使2名（鈴木朋樹氏・スポーツ課、澤田みどり氏・都市計画課）を委嘱。</p> <p>・新しい大使には名刺を作成し、交付した。</p>	<p>・新規大使の委嘱については、担当課が積極的に推進した結果による。</p> <p>・一方で、知名度や活動内容、市への貢献度など、それぞれの大使・特使の間で差がある。</p>	<p>・大使・特使を広く知ってもらい、愛着を持ってもらうため、積極的に周知する。</p> <p>・大使・特使の皆様にも、館山市をもっとよく知っていただき、愛着を持っていただけるような取組を進める。</p>
109	産業・経済	観光の振興	観光PRの強化	観光イベント事業	観光みなど課	3,454					3,454	<p>「たてやま海まちフェスタ」や「館山湾花火大会」を中心とした館山観光まつり、「南総里見まつり」等の観光イベントを民間団体と連携し、特色あるイベントとして開催します。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、多くの観光行事が見送りとなる中、新しい生活様式による「館山観光まつり代替事業」及び「南総里見まつり代替事業」の実施に対する補助金を交付した。</p> <p>・「たてやま海まちフェスタ」は、実行委員会と協議した結果開催を見送った。</p>	<p>・「館山観光まつり代替事業」及び「南総里見まつり代替事業」の実施により、ウイズコロナでの観光振興が図られた。</p> <p>・新しい生活様式下でのイベント開催について、ブラッシュアップが必要である。</p> <p>・運営組織の高齢化などによるマンパワー不足の解消が必要である。</p>	<p>・コロナ禍でも開催可能なイベントにするため、一定期間でのイベント（キャンペーン）に変更することで、観光客の分散や、リピーター・宿泊客の増加を図り、観光消費の拡大を目指す。</p> <p>・「たてやま海まちフェスタ」については、引き続き出展団体等と協議し、新しい生活様式に対応した開催方法を検討していく。</p> <p>・マンパワー不測の解消のため、実行委員会において、イベント全体の見直し及びアウトソーシングの活用を図る。</p>

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7	合計					
						110	産業・経済	観光の振興	観光PRの強化	観光情報の発信・PR	観光みなど課					3,930
111	産業・経済	農水産業の振興	農水産業の活性化	農水産物の6次産業化の推進	農水産課	3,377						3,377	<p>農漁業従事者が主体となり、加工や販売等を行う事業者と連携しながら、地域資源である農水産物等の付加価値向上を図る6次産業化を積極的に推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農漁業従事者が主体となり、2次・3次産業事業者との連携を図った。 ・農水産物加工品開発を支援するため、補助事業を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農漁業従事者の高齢化や減少、農産物等の価格の低迷などに加え、燃料や資材等の価格高騰により農漁業所得が低下している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農漁業従事者が主体となり2次・3次産業の事業者と連携しながら、農産物等の地域資源の付加価値向上を図ることにより、地産地消の観点からも消費者を含む4者の全てに有効な対策である。 1. 6次産業化の専門的知識の講習や先進地の視察等 2. 相談窓口の開設と定期的な意見交換会の実施 3. 経営体育成に向けた包括的支援体制の構築 4. 6次産業化に関する情報提供 5. 規格外製品の活用による所得の向上 6. 高齢者等の雇用の場の確保
112	産業・経済	農水産業の振興	農水産業の活性化	スマート農業の推進	農水産課	670						670	<p>農業の効率化や経営規模拡大のためにITやAIなどの先進技術を導入することにより、スマート農業の普及を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸施設に対し、環境モニタリング装置や自動換気システムを導入し、生産性の向上と省エネ化を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業従事者の減少や高齢化、農産物価格の低迷などにより農業の衰退が進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業（AI、ドローン、ロボット等）の活用についてのPR ・スマート農業導入についての農商相談 ・国庫補助事業等による事業化検討

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						113	産業・経済	農水産業の振興	農水産業の活性化	地産地消の推進					食のまちづくり推進課
114	産業・経済	農水産業の振興	農水産業の活性化	船形漁港周辺の活性化	農水産課	17,966					17,966	<p>都市計画道路船形館山線（船形バイパス）の整備に併せ、館山市の北の玄関口の核となる船形漁港を中心としたにぎわいを創出します。</p>	<p>・船形漁港の荷捌施設の整備に対し補助金を交付し支援した。</p>	<p>・船形ふれあい産地協議会を定期的に開催し、地域活性化に向けた事業の検討</p> <p>・活性化の中心となる漁協の合併後の経営状況、漁協施設の更新、更なる漁協の合併協議が進められているので、その状況次第となっている。</p> <p>・船形漁港の荷捌施設の整備の支援 館山漁協の荷捌き施設は、施設の老朽化や施設及び設備の衛生面、作業効率の面で低下を改善するために、新たな施設整備により、市内から揚がる活魚・鮮魚の魚価の向上と周辺漁協から荷揚げの増加を図る。</p>	
115	産業・経済	農水産業の振興	農水産業の担い手育成支援	農業の担い手育成・確保と組織的な営農スタイルへの後押し	農水産課	1,500					1,500	<p>認定農業者や新規就農者等の育成・確保に加え、企業参入や農業法人化、地域ぐるみの組織的な農業経営体などの育成・確保を図るとともに、定年後のリタイア層や都市部からの移住者などの多様な担い手の育成・確保を図ります。</p>	<p>・農業次世代人材投資資金制度の活用により青年の就業意欲喚起及び就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後の若手農業者に対し支援を行った。</p> <p>・集落ぐるみによる担い手の育成・確保に向けた人・農地プランの作成を推進した。</p>	<p>・高齢者の増加等を考慮し、都市部からの移住者など、多様な担い手の育成・確保が必要である。</p> <p>・認定農業者など意欲的な農業経営体の育成・確保</p> <p>・人・農地プランによる集落ぐるみによる担い手の育成・確保</p> <p>・農業法人の設立促進</p> <p>・企業参入の呼びかけ</p>	

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7	合計					
						116	産業・経済	農水産業の振興	農水産業の担い手育成支援	地域農業活動支援事業	農水産課					38,350
117	産業・経済	農水産業の振興	農水産業の担い手育成支援	水産振興支援事業	農水産課	403						403	水産業の振興と漁業経営の安定化のため、漁業後継者の育成や栽培漁業の実践、水難事故の救済等を行っている各種水産業関連団体を支援します。	・漁業後継者の育成や栽培漁業の実践、水難事故の救済を行っている水産業関連団体へ負担金や補助金を交付し支援した。	・高齢化、後継者不足等の解消にあたり、漁協の果たす役割が大きいが漁協自体に余力がなく施策展開が難しい。	・担い手となる漁業後継者が漁業体験等を行うための場の提供を図るために漁業団体への支援（安房君津地区水産教育振興連絡協議会への負担金） ・人命救助や財産の保護の活動を行う千葉県水難救済会への補助 ・漁獲量の減少に伴い栽培漁業の実践により漁業資源の増大を図る（東京湾栽培漁業推進協議会への負担金）
118	産業・経済	農水産業の振興	農業基盤の整備	環境と調和した農業の推進	農水産課	996						996	化学肥料や農薬の使用低減、農業用廃プラスチックの適正処理など、環境との調和に配慮した農業を推進します。	・園芸用廃プラスチック類の回収を年4回実施し、合計19.36tの農業用使用済みハウス被覆材等を処理した。	・環境保全の促進の観点から、農業者への啓発、指導を継続的にを行い、事業の推進を図る必要がある。	・環境にやさしい農業に取り組み、農業使用の低減や廃プラスチックの削減を図っていく。
119	産業・経済	農水産業の振興	農業基盤の整備	畜産振興支援事業	農水産課	273						273	畜産業者に対し、酪農ヘルパーの利用普及促進や補助事業の活用による畜産施設等の整備促進、家畜伝染病の予防、乳牛の飼育・改良指導等を行います。	・畜産業者の負担軽減のため、酪農ヘルパーの利用普及促進を図った。	・高齢化、後継者不足等により農家数が減少の一途を辿っている。 ・施設整備費が高額、し尿処理・臭い等の環境への対策等を考えると個人による新規参入は難しく、法人化による規模拡大等の推進が課題となる。	・令和2年度に整備した神余地区の大規模酪農場と連携し、後継者不足が深刻な酪農業に新規就農者を呼び込み、地域の活性化を図っていく。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						120	産業・経済	農水産業の振興	農業基盤の整備	有害鳥獣対策事業					農水産課
121	産業・経済	農水産業の振興	農業基盤の整備	農業生産基盤の整備	農水産課	3,995					3,995	農業施設の維持管理や農地の区画整理を推進し、農業の生産性の向上を図ります。また、令和元年房総半島台風被害からの復興促進により、農業生産基盤の回復・維持に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・農道施設の維持管理を継続的に実施し、農業の生産性の向上を図った。 ・災害復旧促進について農業生産基盤の回復・維持を引き続き努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・舗装補修工事等の機能維持の整備を継続的に実施する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路パトロール等により状況を把握し、計画的に整備を進める。
122	産業・経済	農水産業の振興	農水産業の活性化	農地の保全と有効活用	農水産課	0					0	耕作放棄地の再生・有効活用・発生防止に努めるとともに、農地中間管理機構を活用した担い手への農地集積・集約化を促進し、生産者の所得向上や農村環境の維持保全を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理機構を活用した担い手への農地集積・集約化を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者の高齢化が進み、耕作放棄地面積が急激に拡大している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手への農地集積・集約化による農業経営の効率化 ・耕作放棄地の再生・有効活用・発生防止 ・人・農地プランの推進による集落ぐるみでの中心的農家への農地集積 ・農地中間管理機構を活用した担い手への農地集積・集約化の促進
123	産業・経済	農水産業の振興	農業基盤の整備	農業経営安定化の支援	農水産課	6,249					6,249	農業経営の合理化や近代化を図る農業者に対し、農業近代化資金利子補給や農業経営基盤強化資金利子補給等により、経営安定化を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・農業経営の合理化や近代化を図るために借り入れた資金に対し、利子の一部の補助を行った。また、戦略作物の本作物を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業従事者の高齢化や減少、農産物価格の低迷などに加え、燃料や資材等の価格高騰により農業所得が低下している。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 農業近代化資金利子補給 2. 農業経営基盤強化資金利子補給 3. 経営所得安定対策 <p>①畑作物の直接支払交付金 ②米・畑作物の収入減少影響緩和対策 ③水田活用の直接支払交付金</p>

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						124	産業・経済	農水産業の振興	農業基盤の整備	中山間地域の活力維持					農水産課
125	産業・経済	農水産業の振興	水産業の基盤整備	漁業経営支援事業	農水産課	1,681					1,681	<p>市内の漁業協同組合の合併促進や新規漁業就業者の増加に向けた取組とともに、漁業施設の近代化・省力化や共済制度への補助等による漁業者への経営安定化を支援します。</p>	<p>・漁業経営の安定のため共済制度加入者への補助を行った。</p>	<p>・各組合それぞれの考え・立場があり、合併へのプロセスや調整も難しく、まとまって行かない。</p>	<p>・市内3漁業協同組合の合併を促進し、経営基盤の強化を図る ・学校との連携による人材確保、相談窓口の活用、各種情報の提供（漁協・学校との連携により実践研修や必要な知識の習得等、千葉県相談窓口の活用） ・漁業施設の近代化・省力化や共済制度への補助。（漁業近代化施設補助、漁業近代化利子補給、漁業共済補助金） ・他の事業者の参入も含めた水産加工などの新たな事業展開の模索検討。</p>
126	産業・経済	農水産業の振興	水産業の基盤整備	栽培漁業支援事業	農水産課	2,151					2,151	<p>稚貝や稚魚の放流、藻場調査や磯根漁場の改良、養殖漁業の導入に向けた取組を支援し、魚介類の安定供給の確保を目指します。</p>	<p>・市内3漁業協同組合が行う「あわび種苗放流事業」「さざえ種苗放流事業」「藻場回復事業」に対し補助金を交付し支援した。</p>	<p>・供給元での種苗の生育状況や供給元の変更により、要望に対し種苗の放流量が減となっている。 ・漁業者の高齢化等により、資源管理・漁場管理が十分に行われていない。</p>	<p>・あわび種苗放流事業への補助（あわび種苗放流事業補助金） 漁協が実施するあわび種苗の禁漁区への放流事業を支援する。 ・さざえ種苗放流事業への補助（東京湾総合対策事業補助金） 漁協が実施するさざえ種苗の放流事業を支援する。 ・磯根を保全するため、藻場の調査や磯根漁場の改良等への支援 ・養殖漁業の導入に向けた取り組みを支援</p>

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						127	産業・経済	農水産業の振興	水産業の基盤整備	漁港利活用事業					農水産課
128	産業・経済	商工業の振興	商工業の振興	商店街活性化支援事業	雇用商工課	0					0	商店街のキャッシュレス化等の環境整備を推進するとともに、商店街での起業や事業承継を支援するなど、市・商工会議所・商店街等が連携し、魅力ある商店・商店街づくりやにぎわいのあるまちづくりの形成を目指します。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、落ち込んだ市内経済の回復を図るため、9月にキャッシュレス決済（PayPay）ポイント還元事業を行った。	・キャッシュレス決済ポイント決済還元事業：10%のプレミアに対し、約2億2,000万円を売上げ、地元経済振興に寄与した。 ・キャッシュレス・消費者還元事業などでキャッシュレス導入が始まっており、市民・事業者共に意識啓発が必要。 ・事業承継や起業支援について事業者や起業者に寄り添った支援策の検討を要する。	・キャッシュレス化の推進については、市民・事業者への普及啓発を実施する。 ・商店街での起業支援や商店の事業承継について推進する。
129	産業・経済	商工業の振興	商工業の振興	中小企業融資事業	雇用商工課	353,989					353,989	館山商工会議所及び市内金融機関と連携し、中小企業が資金融資を円滑に受けられ、経営の安定化につなげられるよう、館山市の各種融資制度により支援します。	・館山商工会議所及び市内金融機関と連携し、中小企業の資金融資が円滑に受けられるよう利子及び保証料の補給を行った。 ・前澤友作館山応援基金を活用し、令和2年度に実施した新型コロナウイルス感染症対策資金融資に対し、引き続き利子及び保証料補給並びに返済元金の10%の助成を行い、市内中小企業を支援した。	・低金利政策により、一般の低利融資や県の融資制度により、同様の融資が行われている。また、令和2年度に実施した新型コロナウイルス感染症対策資金融資で、申請件数約600件、融資額約30億円となり、中小企業の経営安定化に繋がった。 上記影響もあり、現在、館山市融資制度の利用が低下している。	・小規模事業者経営改善資金（マル経）については、商工会議所会員のメリットとして、新規会員獲得に向け事業者周知していく。 ・中小企業の復興を図るため、令和2年度より、利子補給率を0.5%から1.0%へ、保証料補給率を50%から100%へ変更。現在も継続中。 依然としてコロナ禍による、売り上げ減少が続く事業所もあり、返済困難に陥る事業所など経営相談などを通じ注視していく必要がある。
130	産業・経済	商工業の振興	商工業の振興	伝統的工芸品活性化事業	雇用商工課	150					150	地域を代表する伝統的工芸品である「房州うちわ」、「唐棧織」の振興を図ります。また、房州うちわ振興協議会に対して支援し、「房州うちわ」の伝統工芸士の後継者育成・確保を目指します。	・房州うちわ振興協議会補助金として、活動を支援した。 ・房州うちわ振興協議会にて、平成25年度より後継者育成事業を実施。また、うちわ作り体験を通じて、教育事業への取組を行った。	・後継者育成事業により、後継者が育成されてきているが、まだ一人立ちできる状況ではない。 ・房州うちわの知名度を向上させるための施策が必要。 ・展示等を行っている若潮ホルの取り壊しが決定しており、新たなスペースの確保が必要となる。	・今後も後継者育成事業及びうちわ作り体験事業を行い、後継者育成を図るとともに、房州うちわの新商品開発等を行い、普及啓発を図る。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						131	産業・経済	商工業の振興	商工業の振興	商工関係団体支援事業					雇用商工課
132	産業・経済	商工業の振興	商工業の振興	持続可能で倫理的な消費の普及・啓発	企画課 ／市民協働課 ／雇用商工課	0					0	<p>SDGsの12番目の目標である「つくる責任つかう責任」の実現に向け、フェアトレード商品の購入や地産地消など、人や社会、環境などに配慮した消費行動を促進するため、消費者・事業者・行政が連携して、市民への倫理的な消費（エシカル消費）の普及・啓発を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市庁舎本館正面階段へSDGsアイコンを掲示 ・安房地域振興事務所主催のセミナーでSDGsの事例発表 ・安房西高校生徒が作成したSDGsフラッグを市役所に掲示 ・ちばSDGsパートナー登録制度について県の担当者と情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の取組が県やNPOに伝わり、SDGsの取組について企画課担当者が話をする機会が増加した。 ・エシカル消費は、市民1人1人の生活スタイルや消費行動に直結するため、教育分野との連携も必須。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、エシカル消費（倫理的な消費）という概念を市民に周知するとともに、日常の買い物で世界の課題解決につながるということを、事業者と行政が連携して市民に普及・啓発を行う。 ・積極的に取り組む事業者については、市広報や市HPで紹介するなど、行政として応援する。
133	産業・経済	商工業の振興	商工業の振興	ふるさと納税（ふるさと寄附金）制度の推進	企画課	0					0	<p>ふるさと納税制度を活用し、寄附者に対して館山市の地場産品やサービスなどの返礼品を通して市の魅力を発信することにより、更なる寄附者の増加を目指すとともに、地場産業の振興を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・返礼品数の増加 ・寄附者ニーズに基づく返礼品内容の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・短期的な歳入増だけを目的とするのではなく、制度の趣旨を理解し、市のイメージアップ、知名度アップや地場産業の振興など長期的な視野による取組を進めていくことが必要。 ・隣接する分野（商工業、観光、食のまちづくり、農水産業など）と連携・協力し、市全体のPRとなるような取組をしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・返礼品数、返礼品提供事業者数の増により、地場産業の振興に繋げる。 ・地域の課題を解決するような市独自事業を構築し、クラウドファンディングにより実施する。 ・寄附金の使途について、明確な情報発信を行う。 ・電子感謝券などの導入により、これまで多くはなかった飲食関係・サービス関係の返礼品を充実させ、来訪者の増加に繋げる。 ・シティープロモーション、シティーセールスを意識し、経済観光部と連携・協力しながら、市全体のPRにつながる戦略的なプロモーションを実施する。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						134	産業・経済	商工業の振興	商工業の振興	半島振興法による諸制度の利活用の検討	企画課				
135	産業・経済	商工業の振興	商工業の振興	リノベーションまちづくり事業	雇用商工課	7,990					7,990	まちの建物や空間の新しい使い方と創業希望者などの担い手とをマッチングさせるためのリノベーションスクールを開催することにより、館山駅周辺地域等の空き店舗や未利用地の有効活用を図ります。また、リノベーションスクールの受講生等が事業展開しやすくなるような環境整備を推進します。	・館山リノベーションまちづくり実行委員及び、R3年度に設立されたまちづくり会社とともに、空き店舗活用ワークショップ、講演会、高校生とのまちづくり事業、起業支援事業を実施した。	・R1年度、R2年度に実施したリノベーションスクールをきっかけに飲食店やまちづくり会社等が12件設立された。	・街中で起業や事業展開しやすい環境づくりを行い、空き店舗や未利用地が活用され、まちの活気を取り戻せるような事業を行う。 ・地域の方々や地元の商店街、事業者等の理解、協力を得ながら、連携を深めて取り組んでいくことが求められる。 ・R3年度と同様の取組を継続するとともに、将来にわたって持続可能な取組となるよう、リノベーションまちづくり構想（ビジョン）の策定を行う。
136	産業・経済	新たな雇用の創出と就業支援の強化	新たな雇用の創出	魅力ある雇用の創出	雇用商工課	1,485					1,485	雇用の需要と供給のバランスを整え、多様な職種選択等に対応できる雇用対策を推進し、魅力ある安定した雇用の場の創出に努めます。	・都市部だけではなく、地方でもインターネット環境さえ整えば仕事ができることを体験するとともに、それぞれのライフスタイルやワークスタイルを考えるきっかけづくりとして、「ワーケーション体験プログラム」の開発等を行った。	・館山市での新しい働き方・ライフスタイルを提案する機会となり、モニターツアー参加者の満足度が高く、地元事業者との交流・意見交換も実施できた。	・新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえた中でこれまでの取組を継続しつつ、IT系企業の誘致に有利な地域となるための人材育成として、地元高校生との連携も模索しながら、効果的な事業展開を図っていく。
137	産業・経済	新たな雇用の創出と就業支援の強化	新たな雇用の創出	企業誘致推進事業	雇用商工課	6,639					6,639	企業誘致を推進するため、企業訪問や市内企業の情報収集、市内進出希望の企業へのフォローアップを行うとともに、事業者に対して支援します。	・「館山市テレワーク拠点施設整備補助金」を創設し、テレワーク等に利用可能な拠点施設整備とワーケーション推進を併せて取り組む事業者を対象経費の一部を支援した。 ・新たに事業所を開設した事業者に企業立地奨励金を支出した。	・館山駅西口に所在する筑波大学館山研修所が改修され、館山市のテレワーク・ワーケーションの拠点施設として「リビングエニウェア・コモンズ館山」がオープンした。 ・企業誘致に向けた活動は随時行っているものの、実現には至っていない。	・地域おこし協力隊（ワーケーション推進業務）と連携し、当該拠点施設の利活用を含め、受入体制の充実にも努めるとともに、企業へのアプローチを実施していく。 ・企業立地奨励金を積極的に活用してもらうために周知・広報していく。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						138	産業・経済	新たな雇用の創出と就業支援の強化	新たな雇用の創出	起業促進支援事業					雇用商工課
139	産業・経済	雇用の需要と供給のマッチング強化	就業支援の強化	雇用の需要と供給のマッチング強化	雇用商工課	0					0	ハローワークや近隣市町、事業者と連携・協力し、地域の雇用ニーズを捉えた求職セミナーの開催や求人情報の提供等により、求人・求職のマッチングの機会を増やすとともに、働きたくする環境整備と地域人材の育成により、就業支援を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大により、対面での職場見学が行えないことから、オンラインを活用し、求人募集中の安房地域の企業をYouTubeライブで紹介した。 ・安房地域の企業の若手職員紹介冊子を作成し、Uターン就職促進のために成式で配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有効求人倍率が約2倍となり、人手不足が顕著となっている。 ・需給バランスの偏りが生じている。 ・新型コロナウイルス感染症拡大により、対面での職場見学が行えないことから代替事業が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き関係機関と連携し、ジョブサポート事業を実施していく。 ・人材不足に悩む企業に対して、新たな人材確保方を提案する機会の提供等、企業が抱える問題を緩和・解決する取組も実施する。 ・対面での職場見学が行えないことから、オンラインでの企業紹介等代替事業を行っていく。
140	産業・経済	新たな雇用の創出と就業支援の強化	就業支援の強化	介護・福祉人材の確保に向けた支援	高齢者福祉課	906					906	これからの超高齢社会に対応するため、各介護施設等で不足する介護・福祉人材の確保を支援することにより、高齢者福祉・介護サービスの充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で介護職として就労する、介護職員初任者研修（8人）・実務者研修修了者（11人）へ受講費用の1/2を助成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・助成制度の周知 ・全国的な労働力不足の中でのパイの奪い合い ・助成対象者の拡大について検討する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・助成制度だけでは、人材の確保は厳しい現状。 ・若者への働きかけや他地域・他国からの受入支援等、直接的な人材確保の検討だけでなく、地域全体での支援による介護事業所の負担軽減など、介護人材不足に対応する施策の検討も合わせて必要となる。
141	産業・経済	移住・定住の促進	移住・定住の促進	移住・定住促進事業	雇用商工課	4,500					4,500	NPO法人及び関連機関と連携した移住・定住相談体制の充実、関連イベントの実施、最新地域情報の提供、空き家バンク制度の利用促進など、移住・定住の促進につながる支援や移住しやすい環境の強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・おせっ会のYouTubeチャンネルの登録者数が2,000人を超えた。 ・YouTubeを活用した空き家バンク物件の紹介により、以前よりも早い物件成約に繋がっている。 ・相談件数、移住完了報告者数が年度によってバラつきが大きいため、事業の見通しを立てることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きNPO法人おせっ会と連携し、移住しやすい環境の整備を図るとともに、YouTubeを活用した空き家バンクの物件紹介、移住情報の紹介を通じて移住プロモーションの推進を行う。 	

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7	合計					
142	産業・経済	移住・定住の促進	移住・定住の促進	大学等と連携した教室の開催	企画課	0						0	<p>市内に施設を有する大学や連携協定を締結した大学等に対し、市民や子ども向けの教室の開催や市との連携による共同研究の推進についての働きかけを行い、地域の学ぶ力の向上を目指します。また、空き公共施設等を活用し、市内で活動する学生や研究室の拠点を設け、新たな「知の拠点」の創出を目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに昭和女子大学と包括連携協定を締結。 ・昭和女子大学のプロジェクトの一環として、市役所でのインターンを実施。 ・市街地循環バス（実証運行）のバス停・時刻表デザインを千葉工業大学の学生に依頼。 ・博物館の展示に千葉大学デザイン文化計画研究室が協力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各大学との具体的な取組が進み、学生に地域を知ってもらう機会が設けられた。ただし、コロナ禍により、現地での活動が制限された。 ・大学入学者が減少し、大学施設の都心回帰が進む現状では、地方へのサテライトキャンパス設置は厳しい状況であり、大学側にもその意向はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市内に研究施設やセミナーハウスを持つ大学等と連携し、教室を開催するなど地域の教育力向上を目指す。 ・市内の大学施設等で学んだ学生が、市内で起業や就職、研究を継続することで、関係人口となるよう支援する。
143	産業・経済	移住・定住の促進	移住・定住の促進	市内高校ブランド化支援事業	企画課	0						0	<p>市内高校のブランド化に向けた高校との意見交換を実施するとともに、市内外の中学生や子育て世帯の移住者から“選ばれる高校”になるために、各高校の魅力が向上するための支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校との意見交換会を実施。令和3年度から南房総市と連携し、安房拓心と成美学園（通信）も参加。 ・千葉県の次期県立高校改革推進プランに対し、意見を提出。 ・館山総合高校を希望する地域外生徒のための環境整備や、安房高校の特別進学クラスの設置（中高一貫校含む）の具体的な検討を開始。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治体と高校が連携し、県教育委員会への意見を提出するなど、具体的なアクションを起こせた。 ・市内の高校でも、安心して学ぶことができ、学力向上を見込めるという実績が必要。 ・高校が統廃合された場合、さらなる人口流出が起これかねない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市外の学校に進学する生徒が増加し、県立高校が軒並み定員割れしている現状を克服する。 ・引き続き、高校との意見交換会を実施し、各校の実情に合わせた支援を行う。
144	産業・経済	移住・定住の促進	移住・定住の促進	「恋人の聖地」地域資源・人的資源の活用による関係人口創出事業	企画課 ／雇用 商工課	283						283	<p>「恋人の聖地／鏡ヶ浦から富士の見えるまち 館山」を活用した事業等を実施し、カップルの出会いや思い出、再会の場を提供することにより、移住・定住やUターンの促進を図るとともに、関係人口の創出を目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人口動態データの分析を通じ、少子化対策・結婚支援の必要性を検討。 ・少子化対策については、プロジェクトチーム設置も検討。 ・引き続き、恋人の聖地プロジェクトに参画。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は具体的な事業は実施できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用商工課やNPO法人おせっ会と連携し、人口減少対策・少子化対策のための婚活支援事業の実施を検討する。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						145	産業・経済	交流拠点施設を核とした地域活性化	交流拠点施設を核とした地域活性化	交流拠点「渚の駅”たてやま”機能強化事業	観光みなと課				

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						146	産業・経済	交流拠点施設を核とした地域活性化	交流拠点施設を核とした地域活性化	「食のまちづくり」の推進による地域産業の活性化					食のまちづくり推進課

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						147	基盤整備	住環境の充実と市街地の利便性向上	住環境の充実	建築物の耐震化等の促進					建築施設課
148	基盤整備	住環境の充実と市街地の利便性向上	住環境の充実	空き家対策	建築施設課	2,669					2,669	『空家等対策の推進に関する特別措置法』に基づき、周辺に影響を及ぼす恐れのある特定空家等に対し、適切な行政指導等を行い、安全で快適な住環境の維持に努めます。	・市内全域空家の追加調査（平成28年に実施した調査時には存在しなかった空家の調査）を実施した。	・相続などにより、所有者の特定が困難であり、対応に多大な時間を要する。 ・特定空家等に対する法的措置のみではなく、特定空家等にならないような空家管理をしていく必要がある。	・平成28年度調査空家の追跡調査（フォローアップ） ・空家等対策計画策定 ・不動産事業者等との連携による組織の立ち上げと専門的知見の活用
149	基盤整備	住環境の充実と市街地の利便性向上	住環境の充実	市営住宅の適切な管理	建築施設課	5,815					5,815	館山市の公営住宅について、『館山市営住宅長寿命化計画』に基づき、適切な管理を行います。	・『館山市営住宅長寿命化計画』に基づき、令和4年～5年に予定されている那古住宅長寿命化大規模改修（長寿命化型）工事の設計業務委託を行った。また、笠名の平屋住宅（用途廃止済）2棟について解体を行った。	・現行の長寿命化計画が令和5年で完結するため、これ以降の市営住宅の維持管理や現存の市営住宅を廃止する際の代替住宅の確保について議論を進める必要がある。	1 長寿命化計画に基づく住宅改修（那古市営住宅 32戸） 2 用途廃止予定住宅入居者への住替え斡旋 3 退去した用途廃止住宅の解体

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						150	基盤整備	住環境の充実と市街地の利便性向上	市街地の利便性向上	地籍調査					都市計画課
151	基盤整備	住環境の充実と市街地の利便性向上	市街地の利便性向上	館山駅東口駅前広場の整備	都市計画課	0					0	館山駅東口駅前広場における適正な車両の誘導と安全な歩行空間の確保を目的とした整備を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・館山駅東口駅前広場改修計画策定業務委託の実施（R4に繰越して実施中） 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存駅前広場スペースの中では有効な活用が困難である。 ・整備には交通事業者、警察との協議を要する。 ・改修工事を実施するための詳細設計を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移転した駐輪場跡地を含めた活用を図る。 ・リノベーションまちづくりの観点からの活用も検討する。 ・改修工事には、多額の費用が掛かるため、段階的な整備も検討する。
152	基盤整備	住環境の充実と市街地の利便性向上	市街地の利便性向上	館山駅自由通路等の整備推進	都市計画課	11,694					11,694	館山駅自由通路等の利用者の安全性・快適性を確保するため、計画的な整備を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化による高圧受電設備の一部更新及び天井の落下防止のための補修を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成11年竣工から20年以上経過し、施設の老朽化や塩害による劣化が進行している。 ・計画的な改修を実施することにより、施設整備費等の維持管理費の平準化が図られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水、内外装、トイレ、エレベーター等、優先度の高い箇所から施設整備を実施し、トータルコスト縮減・平準化につながるよう必要に応じ施設整備内容の見直しを行っていく。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						153	基盤整備	公園の機能充実と緑化の推進	公園の機能充実と緑化の推進	都市公園の整備					都市計画課
154	基盤整備	公園の機能充実と緑化の推進	公園の機能充実と緑化の推進	花のまちづくりの推進	都市計画課	1,692					1,692	花のまちづくりの計画的・統一的な推進により、「花のまち館山」の活性化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> チューリップを「スポーツの花」として市の7つ目のイメージフラワーに選定 『希望のタネプロジェクト』（企業から寄贈されたヒマワリの種をR127、R128花壇へ植栽） 庁舎植栽（春・秋） 園児花育事業（たねダンゴプロジェクト） 園芸療法セミナーの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 施策事業を拡大していくうえで、市民の活動へ広がりを持たせ、実践継続へのフォローも考えていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在実施している事業の継続、拡大と新たな施策の実施について検討する。 官民連携による「花のまちづくり」のための方策を検討する。
155	基盤整備	道路環境の充実と河川整備の促進	幹線道路網の整備	国道・県道の整備促進	建設課／都市計画課	42					42	国道・県道の各道路整備事業における未整備区間の整備促進について、要望活動等を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 【建設課】 県道の整備については、関連する促進協議会等を通じて要望活動を行った。また、整備に伴い、地元区長等と調整を図り、事業促進に努めた。 【都市計画課】 国道410号並びに関連道路整備促進期成同盟会において千葉県に対し要望活動を行った。（コロナの影響により要望書は郵送） 	<ul style="list-style-type: none"> 事業主体（県）の事業予算によるところが大きく、また地権者交渉を伴うため、地道な要望活動を行っているが、スピーディーな事業展開になるとは限らない。 	<ul style="list-style-type: none"> 各道路整備事業の未整備区間の整備促進について千葉県に対し、要望活動等を実施する。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						156	基盤整備	道路環境の充実と河川整備の促進	幹線道路網の整備	東関東自動車道館山線等の整備促進					都市計画課
157	基盤整備	道路環境の充実と河川整備の促進	幹線道路網の整備	地域高規格道路の整備促進	都市計画課	30						30	<p>地域高規格道路館山・鴨川道路建設に対する要望を継続します。また、東京湾口道路の早期建設に向けての構想の具体化については、房総地域東京湾口道路建設促進協議会などを通じた、国・県への要望活動等を行います。</p> <p>①館山・鴨川道路 ・地域高規格道路館山・鴨川道路整備促進期成同盟会において国・県などへ要望活動を実施。（コロナの影響により鴨川市による代表要望） ②東京湾口道路 ・実施無し</p>	<p>・強力な要望活動を継続的に実施する必要がある。</p>	<p>①館山・鴨川道路 ・地域高規格道路館山・鴨川道路整備促進期成同盟会における国・県などへの要望活動の実施 ②東京湾口道路 ・房総地域東京湾口道路建設促進協議会などを通じた国・県などへの要望活動の実施</p>
158	基盤整備	道路環境の充実と河川整備の促進	幹線道路網の整備	都市計画道路船形館山線（船形バイパス）の整備	都市計画課	14,400						14,400	<p>富津館山道路の富浦インターチェンジ付近の国道127号から館山湾へ直接アクセスできる「船形バイパス」の整備を推進します。</p> <p>・用地取得を実施し、公社取得分を含めて357.69㎡を取得した。（令和3年度末までの取得率74.2%）</p>	<p>・国費（防災安全交付金）の交付率が年度により大きく変動することがあり、交付決定に伴い事業量の調整をしながらの事業遂行となっている。</p> <p>・用地取得難航者の対応が課題になっている。</p>	<p>・用地交渉において、特殊性を要する案件については、専門的分野の有資格者を通じ必要な対策を講じながら課題の解決を図る。</p>
159	基盤整備	道路環境の充実と河川整備の促進	幹線道路網の整備	都市計画道路青柳大賀線の整備	都市計画課	297						297	<p>国道410号分岐部から県道南安房公園線までの都市計画道路青柳大賀線について、事業中の都市計画道路整備事業の進捗状況を見極めながら整備計画の策定に取り組みます。</p> <p>・先行取得用地の維持管理を実施</p>	<p>・複数の都市計画道路整備事業は財政的に難しい。</p> <p>・未整備区間が約3.5kmと長い為、認可区間を分割する必要がある、その場合、既設の道路と取り付ける道路の改良工事が必要になる。</p>	<p>・事業中である船形バイパスの進捗状況を見据えながら、且つ他の大規模事業との調整を図り事業着手する必要がある。</p>

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						160	基盤整備	道路環境の充実と河川整備の促進	市道の整備	道路改良事業					建設課
161	基盤整備	道路環境の充実と河川整備の促進	市道の整備	道路排水整備事業	建設課	20,015					20,015	<p>居住環境の改善と安全な通行の確保のため、市民からの要望を踏まえながら、計画的な排水整備を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内6路線の排水整備工事を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・排水整備の要望は、毎年各地区から多数寄せられており、現計画では整備が追いついていない。 ・整備要望に対する財源確保が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区から新規に多くの排水整備の要望が出されていることから、今後も緊急度に応じた計画的な整備が必要である。 	
162	基盤整備	道路環境の充実と河川整備の促進	市道の整備	歩道整備事業	建設課	0					0	<p>安全・安心な歩行空間の確保のため、自動車交通量の多い幹線市道や学校周辺の歩道等の整備を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に必要となる用地の確保や、関係機関との協議等に時間と労力が必要となる。 ・国の交付金事業の重点計画に該当しないため、配分額が少なく計画通りには進まない可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者の安全確保と、円滑な車両通行を確保する上で、歩道整備が必要な箇所について、用地の確保など課題もあるが、整備可能な箇所から整備を行う。 	
163	基盤整備	道路環境の充実と河川整備の促進	市道の維持管理	道路維持補修事業	建設課	65,461					65,461	<p>定期的な道路パトロールを実施し、危険箇所の早期発見による迅速な補修を行うとともに、法定外公共物については、資材支給等による維持管理に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年々増加する要望数に外注・直営を適切に対応することで、道路施設における最低限の機能管理を図った。 ・道路施設の老朽化が著しく、要望件数も増加するなか、不明埋設物等の老朽化による道路陥没の緊急対応も増加しており、道路施設の更新が課題である。 ・地域住民の高齢化に伴い、草・竹刈りの要望箇所が年々増加しており、市直営での対応が困難となってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路構造物の老朽化による道路陥没が、令和3年度は11か所発生しており、年々発生件数が増加傾向である。対処療法的に復旧工事を行っているが、予算の確保及び直営職員の確保は不可欠である。また、市民の高齢化に伴い年々増加している、市道等の草刈要望については、市直営での対応が困難な状況となっているので、業務委託料の予算増加が必要である。 	
164	基盤整備	道路環境の充実と河川整備の促進	市道の維持管理	トンネル及び道路法面長寿命化修繕事業	建設課	46,315					46,315	<p>交通の安全確保のため、市内6カ所の道路トンネル及び道路法面について、『長寿命化修繕計画』に基づいた補修を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道路法面の長寿命化修繕計画に基づき市道4040号線の道路法面の補修工事を令和2年度より繰越して実施した。 ・国の交付金により事業を実施するため、配分額が少ない場合は計画通り進まない可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路法改正により義務化された5年に1回の定期点検や、長寿命化計画に基づき、ライフサイクルコストの縮減と維持管理費の平準化を図り、計画的に事業を実施する必要がある。 	

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						165	基盤整備	道路環境の充実と河川整備の促進	市道の維持管理	道路舗装補修事業					建設課
166	基盤整備	道路環境の充実と河川整備の促進	市道の維持管理	橋梁長寿命化修繕事業	建設課	49,578					49,578	安全な交通機能を確保するため、橋梁の点検及び『橋梁長寿命化修繕計画』に基づいた補修を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁点検を47橋実施（2巡目）し、点検結果を踏まえR4に長寿命化修繕計画の見直しを予定している。 ・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、島田橋（R2繰越）と和田橋、中入会橋、中芝橋、館山大橋（R3繰越）、2号永代橋（R3繰越）の補修工事を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕計画を策定し、橋梁点検を実施した結果、補修する橋梁数が多く、修繕計画通り進まない可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路法改正により義務化された5年に1回の定期点検や、長寿命化計画に基づき、ライフサイクルコストの縮減と維持管理費の平準化を図り、計画的に事業を実施する必要がある。
167	基盤整備	道路環境の充実と河川整備の促進	河川の安全確保	河川整備維持補修事業	建設課	4,576					4,576	河川パトロールの実施により、河川施設の状況把握や危険箇所を早期発見し、河川の適正な整備・維持補修を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・河川維持工事に伴う業務委託の発注を行い、工事発注に対する設計業務を実施した。 ・竹木伐採及び堆積土砂の撤去などを行ったことにより、被害の拡大を防止するとともに施設の安全性が保たれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備に伴う財源の確保や河川整備事業としての整備に至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・R4年度は、R3年度繰越を含め普通河川蟹田川、塩見川、見物川、長田川、茂名川の護岸河川維持工事を実施する。
168	基盤整備	道路環境の充実と河川整備の促進	河川の安全確保	二級河川の整備促進	建設課	11					11	河川の氾濫が懸念されている平久里川及び滝川の未整備区間の整備促進について、早期実現を千葉県へ要望します。	<ul style="list-style-type: none"> ・改修促進協議会により、県への要望活動を実施。 ・千葉県を事務局とし流域治水プロジェクトを策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主体（県）の事業予算によるところが大きいため、地道な要望活動をしたところではピーディーな事業展開になるとは限らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平久里川及び滝川の未整備区間の整備促進について千葉県に対し、要望活動等を実施する。
169	基盤整備	道路環境の充実と河川整備の促進	河川の安全確保	雨水排水路等の整備	都市計画課	68,624					68,624	雨水排水路の修繕工事を行うとともに、浸水がみられる箇所（北条中央排水路・楠見1号排水路・那古下水路）の計画的な整備を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・随時雨水排水路の修繕工事を実施 ・北条中央排水路改良工事（第1期）を実施 ・楠見1号排水路詳細設計業務を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・船形バイパスの付帯工事で宇田排水路の改良工事を実施して行くが、その他の複数の雨水排水路改良工事を実施するだけの財力が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺地域での冠水被害の解消を図るため、計画的に排水路の改修を進める。 ・雨水排水路の流下能力に余裕のある水路については、汚泥撤去作業が不要になるような修繕工事を進める。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						170	基盤整備	交通体系の充実	地域交通網の確保・維持	自転車利用促進事業					企画課／観光みなど課／市民協働課／建設課／スポーツ課
171	基盤整備	交通体系の充実	地域公共交通網の確保・維持	持続可能で利便性の高い公共交通ネットワークの確保・維持	企画課	51,779					51,779	<p>『館山市地域公共交通網形成計画』で重点的に取り組む分野としている「市街地の回遊性向上」、「公共交通空白地対策」、「観光二次交通の整備・確保」について、市民や公共交通事業者、その他関係機関と連携し、公共交通網の見直し・改善を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化が進み、運転免許返納者が増加傾向にある中、移動手段を維持確保することは、安心して暮らせる環境づくりや生活の質向上につながると考えられる。 ・ 課題としては、「各事業の継続性担保」「特に交通空白地輸送における地域住民の理解、協力」「コストバランス」等が挙げられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、2市合同の「南房総・館山市地域公共交通計画」並びに「館山市地域公共交通網形成計画」の内容に従い、利用しやすくニーズに沿い、かつ、コストバランスの取れた移動手段の構築・維持確保に努める。 	

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						172	基盤整備	交通体系の充実	地域公共交通網の確保、維持	新たなシステムの導入等による利用しやすい公共交通の実現	企画課				

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						173	環境共生	自然環境の保全と景観形成の促進	自然環境の保全	森林・里山保全整備事業					農水産課
174	環境共生	自然環境の保全と景観形成の促進	自然環境の保全	自然環境保全対策事業	環境課	6,725					6,725	自然環境を守るための指導・規制や緑化の推進・啓発活動に努めます。また、自然環境の保全活動に取り組む団体を支援します。	・無断埋立ての可能性のある現場の監視 R3：1件 ・不法投棄等の発見・監視 R3：18件 ・その他公害等の監視・指導 R3：56件	・法令対象外や管轄外、他機関との調整の必要などにより、発見後の迅速な対応が困難な事案がある	●千葉県及び自然公園指導員等と連携し、監視活動を行う。 ・千葉県自然保護指導員による巡回巡視（千葉県知事委嘱） 任期2年 1名 ●環境への負荷が低減されるよう監視し、無断埋立て等の適切な指導や規制を行う。 ・環境対策等のパトロールによる監視、指導（市職員 2名） ・関係法令に基づく適切な指導、規制 ●海洋プラスチックごみの削減、SDGsへの取組みを推進する。 ・プラスチック・スマートフォーラム等を活用した啓発活動を行う。
175	環境共生	自然環境の保全と景観形成の促進	自然環境の保全	埋立事業者への指導・監督強化	環境課	0					0	『館山市小規模埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例』的的確な運用と事業者への指導・監督強化により、土壌汚染や災害発生の未然防止に努めます。	条例による許可 R3：8件	・規制対象外の物での埋め立てが増加しており、それらに対する規制の必要性の検討。	・規制対象外となっている埋立て事業への対応を検討 ・千葉県の条例改正の動向確認
176	環境共生	自然環境の保全と景観形成の促進	公害防止対策の推進	公害防止対策事業	環境課	1,327					1,327	公害発生防止のための水質調査や土壌調査などを行います。また、工場設置事業者等と公害防止協定を締結するなど、公害の発生防止に努めます。	・地下水、浸出水、河川の水質検査を実施。 検査実施箇所数 R3：18か所	・過疎、高齢化による、耕作放棄地や空地、空家が増加し、環境課のみでの対応が困難な事案が増加している	●公害防止協定の締結の推進 ・公害防止協定の締結 ・公害防止協定に基づく調査・指導・監督 ●市民からの公害苦情相談等に対して、現地調査等を実施し、原因者、被害者双方にアドバイス・調整を行い、問題の早期解決に努める。
177	環境共生	自然環境の保全と景観形成の促進	公害防止対策の推進	不法投棄防止対策事業	環境課	472					472	巡回パトロール及び防犯カメラによる監視強化などにより、不法投棄の防止に努めます。	・巡回パトロールや防犯カメラでの監視による、不法投棄の防止対策を実施。 R3：不法投棄対応18件	・監視強化により、不法投棄への早期対応、事案の拡大防止につながった。	・巡回パトロール、防犯カメラによる監視、市及び県等による連携（合同パトロール、現場調査等）、広報紙等による周知により、不法投棄の防止と早期発見に努める。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						178	環境共生	自然環境の保全と景観形成の促進	景観形成の促進	景観まちづくりの推進	都市計画課				
179	環境共生	環境・衛生対策の充実	廃棄物処理体制の充実	し尿収集運搬事業	環境課	16,231					16,231	市民（利用者）の衛生的な生活環境の確保と負担軽減を図るため、し尿収集運搬事業の円滑な運営を支援します。	・し尿収集業者に対し、業務実績に基づく補助を実施。 R3：収集量4,835,190ℓ	・し尿収集業者による安定的かつ円滑な収集が実現した。 ・人口減少等により収入が減る一方、市内全域の収集に一定の費用を要する、赤字が避けられない事業構造が課題。	・事業の構造的な赤字が避けられないことを踏まえて、安定的かつ円滑なし尿収集に資する事業者への支援を実施する。
180	環境共生	環境・衛生対策の充実	廃棄物処理体制の充実	粗大ごみ処理施設運営事業	環境センター	11,451					11,451	施設の適正な維持管理により、粗大ごみの効率的な処理や資源リサイクルの推進に努めます。	・綿密な日常点検、適正な運転管理を実施し、確実な廃棄物処理を行った。	・施設閉鎖の期間までの安定した運転管理の実施。	・令和4年度をもって、当該施設での粗大ごみ処理事業は終了。 ・令和5年度より民間委託へ移行。
181	環境共生	環境・衛生対策の充実	廃棄物処理体制の充実	最終処分場運営事業	環境センター	13,133					13,133	ガレキ類等の安定した最終処分を図るとともに、周辺環境の保全のため、適正な浸出水処理と施設の機能確保に努めます。	・綿密な日常点検、適正な運転管理を実施し、確実な水処理を行った。 ・焼却灰処理を民間業者に委託し、最終処分場の延命化を図った。	・施設の延命化を図るため、受け入れているガレキ類の更なる減量化（再資源化）が必要。	・適正な浸出水処理、焼却灰の全量処理委託、ガレキの受入、その他施設の運転管理。
182	環境共生	環境・衛生対策の充実	廃棄物処理体制の充実	清掃センター運営事業	環境センター	380,943					380,943	ごみの効率的、効果的な処理を行うため、清掃センターの設備・機器の定期点検や補修を実施し、適正な維持管理と施設の延命化に努めます。また、焼却灰の処理を市外業者に委託し、最終処分場の延命化、機能確保を図ります。	・綿密な日常点検、適正な運転管理を実施し、確実な廃棄物処理を行った。	・基幹的設備改良工事により当面当該施設でのごみの焼却は確保できるが、次期焼却場の建設について速やかに検討を開始する必要がある。	・日々の適正な運転管理、適切な定期点検整備の実施、焼却灰の全量処分委託の実施。
183	環境共生	環境・衛生対策の充実	廃棄物処理体制の充実	清掃センター長寿命化対策事業	環境センター	150,280					150,280	国の指針に従い、ストックマネジメント*手法を導入して策定した『館山市清掃センター長寿命化総合計画』に基づき、日常の適正な運転管理と定期点検整備を実施するとともに、延命化対策工事を実施していくことにより、清掃センターの更なる長期活用、ごみの適正処理を図ります。	・基幹的設備改良工事に着手した。	・基幹的設備改良工事により、焼却炉が更新され、焼却能力の回復が見込まれる。	・令和3～5年度基幹的設備改良工事（大規模改修工事）
184	環境共生	環境・衛生対策の充実	廃棄物処理体制の充実	衛生センター運営事業	環境センター	98,421					98,421	し尿の効率的、効果的な処理を行うため、衛生センターの設備・機器の定期点検や補修を実施し、適正な維持管理と施設の延命化に努めます。また、処理汚泥を肥料として有効活用し、環境負荷の軽減に努めます。	・綿密な日常点検、適正な運転管理を実施し、確実な廃棄物処理を行った。	・施設の老朽化により、修繕費などの増が予想される。	・定期点検補修の実施、綿密な日常点検の実施、処理汚泥の全量肥料化による経費の削減。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						185	環境共生	環境・衛生対策の充実	水道事業の経営基盤強化の推進	県内水道の統合・広域化の推進					環境課
186	環境共生	環境・衛生対策の充実	水道事業の経営基盤強化の推進	合併浄化槽普及事業	下水道室	1,400					1,400	<p>生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽への転換を支援します。</p>	<p>・単独浄化槽又はくみ取り便槽を撤去して合併浄化槽を設置する者に対し、20万円の補助を実施した。（7基設置）</p>	<p>・リフォーム補助金の廃止に伴い、浄化槽転換とトイレ改修の併用が出来なくなったことにより、工事需要が減少した。 ・近隣市と比較し、補助金の交付額が低いため、見直しが必要である。</p>	<p>・「君津地域・安房地域循環型社会形成推進地域計画」に基づき、事業を進める。 ・補助限度額の増額を検討する。</p>
187	環境共生	環境・衛生対策の充実	下水道の整備・普及	公共下水道の普及促進と安定した運営	下水道室	32,346					32,346	<p>公共下水道供用開始区域での水洗便所改造に対する助成等により、新規接続者の増加に取り組み、公共下水道の普及促進を図ります。同時に、下水道会計の健全化や現在の終末処理場の処理能力を踏まえ、将来的な公共下水道の整備を検討します。また、終末処理場については、適切な長寿命化対策を行うとともに、包括的民間委託により効率的な維持管理を図ります。</p>	<p>・枝線管渠の整備 L = 302.97m ・樹・取付管の設置 18ヶ所 ・水洗便所改造資金補助 8件</p>	<p>・公共下水道への接続者の増加については、市から未接続者への働きかけは行っているが、限度があるため、指定工事店等を巻き込んだ働きかけが必要である。 ・整備については、初期投資に起因し、地方債の償還額がピークを迎えており、市財政への負担が大きくなっている。</p>	<p>・新規接続の増加に取り組む。 ・接続義務者となる建物所有者に対して、水洗便所改造補助金の周知などを含む接続推奨に取り組むことで新規接続件数と使用量の増加を図ると共に、未接続者への個別訪問、広報・回覧・ホームページでの啓発、鏡ヶ浦クリーンセンター見学会の開催などを進めてきた中で個別の未接続理由に応じた周知方法を取捨選択し効率化を図る。 ・管渠整備については、下水道会計の健全化を考慮し、市の財政状況や地域の意向等を踏まえ、検討していく。</p>
188	環境共生	資源循環型社会の構築	資源循環型社会の構築	ごみ減量化・再資源化事業	環境課	168,873					168,873	<p>家庭系ごみの適正搬出と分別や事業系ごみの適正搬出を促進し、更なるごみの減量化・再資源化に取り組めます。</p>	<p>・金属類、ガラス類、プラスチック製容器包装、ペットボトル、古紙類に分け、収集、処理を実施。 R3：合計2,881,055kgの収集</p>	<p>・当市一般廃棄物処理実施計画に沿った収集、再資源化を実施できた。 ・今後、国の制度や社会情勢の変化の中で、周辺に大規模な処理施設がない当市において、安定的に再資源化を実施できるかが課題。</p>	<p>・ごみ搬出場所の適正管理の促進 ・分別の徹底による適正搬出の促進 ・事業系一般廃棄物の適正搬出の促進 ・広報紙等による周知（適正分別、適正搬出、3Rの促進等）</p>

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						189	環境共生	資源循環型社会の構築	資源循環型社会の構築	環境美化推進事業	環境課				
190	環境共生	資源循環型社会の構築	資源循環型社会の構築	地球温暖化対策事業	環境課	4,001					4,001	<p>公共施設への太陽光発電システム等の導入や住宅用省エネルギーシステム設置に対する支援により、新エネルギーシステムの普及・促進を図ります。また、市が率先して地球温暖化対策に取り組むことにより、市民・事業者の自主的な活動を促進します。</p>	<p>補助金の実績 42件 4,001千円 （内訳） ・住宅用太陽光発電設備 14件 1,241千円 ・定置用リチウムイオン蓄電システム 26件 2,600千円 ・窓の断熱改修 2件 160千円</p>	<p>・一般市民に対し、補助金交付以外の対策や啓発</p>	<p>・市民の模範となるよう「第四次館山市地球温暖化対策実行計画」に基づき、日々の仕事の中で率先して実施するとともに、市内の特定事業所排出者の把握に努め、館山市全体の地球温暖化防止に取り組む。 ・毎年活動量調査を実施し、排出量を監視するとともに、結果を公表することにより、市民への普及啓発を図る。 ・公共施設への太陽光発電システム等の導入や、住宅用省エネルギーシステム補助金により、新エネルギーシステムの普及促進を図る。 ・市民へCO2削減の取組みに関連する情報の啓発・普及を図る。</p>

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						191	防災・安全	防災体制の強化	防災力の強化	地域防災力強化事業	危機管理課				
192	防災・安全	防災体制の強化	防災力の強化	災害対応力強化事業	危機管理課／総務課	1,694					1,694	災害発生時に備え、『館山市地域防災計画』を見直し、備蓄食糧や各種資機材の整備拡充を図るとともに、災害時の応援協定の充実により、災害対応力の強化に取り組みます。また、避難生活における感染症防止対策等、良好な生活環境を確保するため、『館山市避難所運営マニュアル』を逐次見直すとともに、災害ボランティアセンターを充実させ、福祉避難所を拡充します。さらに、災害時においても、市民生活を支える行政サービスの提供を維持するため、『業務継続計画』を見直します。	<ul style="list-style-type: none"> ・非常用発電機燃料の備蓄 ・災害協定の締結 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画の見直しの遅延 ・避難所運営マニュアルの作成 ・業務継続計画の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害発生時の応急対応から災害復旧に至る一連の公助機能の強化を図るとともに、避難生活の環境改善等の被災者支援の充実強化に取り組む。また、災害時の受援体制を整えるため各種応援協定を充実させるなど、災害対応力の強化に取り組む。
193	防災・安全	防災体制の強化	防災力の強化	国土強靱化地域計画の推進	危機管理課	1,485					1,485	今後想定される巨大地震や豪雨等の大規模自然災害が発生した場合に備え、地域や社会システム等の脆弱性を検討した上で、最悪の事態を回避するための取組の方向性や内容を取りまとめ、災害に強く安心して暮らすことができる地域づくりを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ・国土強靱化地域計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・人命を最大限に守り、被害を最小化して迅速に回復する「強さとしなやかさ」を備えた社会を構築することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次館山市総合計画に基づき、強靱化に関する指針として、各分野別事業計画に反映する。
194	防災・安全	防災体制の強化	防災力の強化	災害情報伝達手段の整備	危機管理課	52,277					52,277	防災行政無線を補完するための安全・安心メール、たてやま安心電話等の普及促進により、災害発生時の情報伝達手段を確保します。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線や安全安心メール、あんしん電話の普及促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線の完全デジタル化を見据え、デジタル戸別受信機導入の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線を補完する役割を果たす、安全安心メールや安全安心テレフォン、防災ラジオの普及と有効活用を努める。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						195	防災・安全	防災体制の強化	津波対策の推進	津波防災まちづくり事業					危機管理課
196	防災・安全	消防・救急の充実	消防環境の充実	消防団拠点施設の整備	危機管理課	0					0	<p>老朽化した詰所や津波浸水予想地区に建設されている詰所などについて、安全性を確保した拠点施設とするため、計画的な建て替えを進めます。また、消防団の迅速な災害対応活動を確保するため、老朽化した消防ポンプ自動車を計画的に更新します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 旧耐震基準による消防団詰所第13部、津波浸水予想区域内にある詰所第14部の建替え検討、両部の統合を見据え統合詰所の建替適地の選定について第6分団に依頼した。 	<ul style="list-style-type: none"> 津波対策として高台への詰所の移転や老朽化した詰所の建替えが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在旧耐震基準による詰所は3棟（16・13・3部）、その他津波浸水予想区域内にある詰所1棟（14部）、以上4棟は優先して建替えを検討。 その他の詰所は築40～45年程度を目途に順次建て替えを検討。
197	防災・安全	消防・救急の充実	消防環境の充実	消防水利の整備	危機管理課	19,071						<p>転落防止とともに清掃不要で常時使用を可能とするため、防火水槽の蓋掛けを行います。また、消防水利の乏しい地区における火災時の迅速な消火活動のため、地区の要望に基づき防火水槽を設置します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 正木西郷地区(第4部)の新設要望及び消防水利不足を解消するため防火水槽を新設。 蓋なし防火水槽布沼(第16部)・大戸(第20部)・竹原(第27部)の3カ所に転落防止等対策のため蓋掛けを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 防火水槽の設置については、地元区の要望とともに用地提供が必要なため現在要望箇所なし。 蓋なしの防火水槽は数年で落ち葉や泥が溜まり使用に適さなくなるため、定期的な清掃が必要だが、清掃には多大な労力が掛かり、減少傾向にある団員の負担が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 既設防火水槽の蓋掛を毎年度3基行うとともに、新設要望があった場合は予算化して実施する。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						198	防災・安全	消防・救急の充実	消防団活動の充実	消防団員の確保と待遇改善	危機管理課				
199	防災・安全	消防・救急の充実	消防団活動の充実	消防団員の育成及び市民の防火意識の高揚	危機管理課	31,447					31,447	<p>消防団員の消防・防災に関する知識や技術の向上を図るとともに、装備の更新に努めます。また、火災予防運動の実施等により、市民の防火意識の高揚を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 消火活動に必要な防火服、防火ヘルメット、活動服、手袋などの安全装備を揃えるとともに、消防学校への入校や訓練を行うことで知識や技術の向上を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 団員数が減少しており、団員1人に掛かる負担が増加している。そうした中、団活動中の安全管理が重要となり、機械器具の取扱いや災害現場での安全確保が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全管理の徹底 消防団の活動内容の見直し
200	防災・安全	消防・救急の充実	消防・救急体制の充実	消防・救急体制の充実	危機管理課／健康課	862,507					862,507	<p>安房郡市広域市町村圏事務組合に対し、常備消防に関する費用を負担、西岬分署と神戸分遣所の統合による新分署の建設用地を選定し、消防業務や救急業務の充実・強化を図ります。また、市民へのAEDの普及に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 安房郡市広域市町村圏事務組合に対し、常備消防に関する費用を負担、西岬分署と神戸分遣所の統合による新分署の建設用地を選定し消防業務や救急業務の充実・強化を図った。 新型コロナウイルスの感染防止のため、安房消防による救命講習会等は中止と 	<ul style="list-style-type: none"> 構成市町それぞれの財政状況などにより考え方が異なり、統一した働き掛けは難しい。 コロナ禍により講習会を実施することができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 構成市町と連携し、常備消防や救急業務の充実強化のための働きかけを行っていく。 職員や市民に対しAEDの普及をしている。
201	防災・安全	交通安全・防犯体制の強化	交通安全・防犯体制の強化	交通安全対策の推進	市民協働課	18,003					18,003	<p>交通危険箇所等の点検を行い、必要な安全施設の整備・修繕を進めるとともに、交通安全教育による交通ルールの徹底に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 町内会等からの要望による交通安全施設の整備 「通学路合同点検」における交通安全施設の整備 「道路付属物修繕計画」に基づく案内標識、警戒標識の整備 交通指導員による通学路の見守り活動の実施（各小学校に加え、館山中を追加） 	<ul style="list-style-type: none"> 道路構造等の理由により、道路付属物の設置が難しい箇所の対応。 高齢者が関連する事故の防止 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携して、交通安全施設の整備及び交通安全思想の普及啓発、高齢者の運転免許証自主返納を推進する。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						202	防災・安全	交通安全・防犯体制の強化	交通安全・防犯体制の強化	自転車駐車場維持事業	市民協働課				
203	防災・安全	交通安全・防犯体制の強化	交通安全・防犯体制の強化	防犯環境整備事業	市民協働課	4,849					4,849	館山市防犯協会を通じ、防犯パトロールや町内会の防犯灯の設置及びLED化等への支援を行います。また、関係機関と連携して、防犯活動を行うとともに、犯罪の発生しやすい場所への防犯カメラの設置等により、犯罪の未然防止に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・館山市防犯協会を通じたLED防犯灯設置の支援 ・館山駅西口付近の防犯カメラ設置による犯罪抑止 ・館山市内で発生する防犯詐欺情報、行方不明者への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・各町内会が管理する防犯灯の負担軽減 ・防犯カメラ設置による犯罪抑止 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防犯活動を推進している館山市防犯協会への支援を引き続き行うとともに、防犯灯のLED化の推進と防犯カメラの設置により、犯罪が起りにくい環境づくりに努める。
204	防災・安全	消費者保護対策の推進	消費者保護対策の推進	安全・安心な消費生活の確保	市民協働課	2,572					2,572	消費生活相談員を配置し、関係機関と連携して消費者トラブルの解決を図るとともに、消費者教育や情報の周知徹底により、トラブルの未然防止に努めます。また、立入検査による生活用品の安全性の確保や商品表示の適正化に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活相談員の後任育成 ・悪質、巧妙化した詐欺への対応 ・高齢者、成年年齢引き下げを狙った詐欺への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 消費トラブルを未然に防ぐため、また、被害を最小限に食い止めるためには、引き続き消費者教育の推進や情報の周知徹底を行っていく。 	

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						205	市民参画・行政運営	市民参画の促進	市民と行政の協力的体制づくり	広聴体制の充実					企画課
206	市民参画・行政運営	市民参画の促進	市民と行政の協力的体制づくり	市民と行政による協働事業の充実	市民協働課	600					600	まちづくりの担い手である市民団体やNPO法人等との連携を強化するとともに、各団体相互の交流を図り、『館山市市民協働条例』等に基づく取組を推進します。	・公開プレゼンテーション審査で選定した3団体に、市民協働事業補助金を交付し、地域課題の解決につながる事業を実施してもらった。	・NPOの自主的な活動に対し、関係課及び関係機関と情報共有を密にし、対応を継続する必要がある。 ・市民協働条例の周知と施策の展開。	・NPOの自主的な活動に対し、関係課及び関係機関と情報共有を密にし、対応を継続する必要がある。 ・市民協働条例や補助制度の周知。
207	市民参画・行政運営	地域コミュニティ活動の推進	地域コミュニティ活動の推進	コミュニティ事業の推進	市民協働課	15,227					15,227	各地区のコミュニティ活動団体を支援し、地区の助け合いや地域活性化の活動を促進します。また、コミュニティ活動に若者世代の参加を促し、活性化を図ります。	・各地区コミュニティの運営を支援し、市民の自主的な活動促進が図れた。	・人口減少・高齢化により、地域コミュニティの担い手が減少する傾向が懸念される。	・市内10地区のコミュニティ委員会への活動補助を継続するとともに、若者世代をコミュニティ組織に取り組めるような活動内容に改めるよう助言する。
208	市民参画・行政運営	地域コミュニティ活動の推進	地域コミュニティ活動の推進	町内会活動の促進	市民協働課	5,445					5,445	館山市町内会連合協議会の活動を支援するとともに、町内会活動の重要性の周知と加入促進により、自治活動の活性化に努めます。	・館山市町内会連合協議会へ補助金を交付し、町内会の円滑な自治活動を促進するとともに、町内会相互の連絡調整を図った。	・町内会連協に対する補助金額を減らすことについては、町内会組織の運営に支障をきたす恐れが大きい。 ・町内会未加入者等や人口減少により、今後、町内会組織の運営が厳しくなっていく傾向がある。	・町内会組織と市の関わりをバランスよく保ちながら、自主性を損なわないよう支援を続ける。 ・町内会組織の必要性及び重要性を地域住民に周知し、理解してもらう必要がある。
209	市民参画・行政運営	地域コミュニティ活動の推進	多様な主体との連携	地域やNPO等による地域活性化活動への支援	企画課	0					0	地域やNPO法人等の主体的な活動としての「館山市の偉人」及び「館山市出身の著名人」にスポットを当てた取組に対する支援を行い、地域の活性化につなげていきます。	・テレビ局から防災無線（YOSHIKI氏作詞・作曲の“Forever Love”）の使用申請が年間5件ほどあり、事務所で使用許可をもらってから音源データを提供している。	・各取組の内容、実施主体、対象者等がさまざまであることから、それぞれに見合った具体的な支援の方策を検討していく必要がある。 ・地元活動団体からのYOSHIKI氏に関する要望に対し、市の方針について整理する必要がある。	・YOSHIKI氏（X JAPAN）の楽曲放送等による新たな地域活性化の取組を企画・検討していく。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						210	市民参画・行政運営	地域コミュニティ活動の推進	多様な主体との連携	「多世代共創社会」・「生涯活躍のまちづくり」の推進	企画課				
211	市民参画・行政運営	男女共同参画の推進	男女共同参画の推進	男女共同参画社会の実現に向けた取組	市民協働課	47					47	<p>『第4期館山市男女共同参画推進プラン』に掲げた4つの基本目標を推進することにより、男女共同参画意識の普及に努めます。また、性別による差別をなくすことや多様な性のあり方について理解を深めるため、正確な情報提供とともに、積極的な意識啓発に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コーラル会議で各分野からの意見交換を行い、現状の課題等を把握した。 ・房南中学校で、千葉県男女共同参画地域推進員による寸劇事業を実施した。 ・LGBTに関し、あらゆる機会を通して多様性を受け入れられるよう、意識啓発を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートの「男女平等である」とする割合が14.9%と低い。 ・市の女性管理職員や市の審議会等における女性委員の割合が低い。 ・LGBTを含む性的マイノリティの理解や支援が進んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーラル会議を開催し、男女共同参画の理念の推進とプランの進捗管理・評価を行う。 ・県の男女共同参画推進委員の活動や近隣市町との連携を模索しながら、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進める。 ・性の多様性に関する啓発活動を行う。
212	市民参画・行政運営	男女共同参画の推進	男女共同参画の推進	女性活躍推進事業	市民協働課／総務課	0					0	<p>『女性活躍推進法』に基づき、女性が職場で能力を発揮し、活躍できる社会を実現するため、結婚・出産・育児等の理由で離職した女性を対象に、再就職に向けた環境づくりを支援します。また、市内事業者に対し、男女共同参画意識の醸成を図り、女性の積極的活用と男性の育児休暇取得を促します。さらに、性別や雇用形態にかかわらず全ての館山市職員が、それぞれの能力・適性を発揮し活躍できる組織を作ることにより、組織力の強化・持続的な行政運営を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員に対し、「男性職員の育児参加の促進等について」通知を行い、男性職員の積極的な育児参加、育児に伴う休暇・休業取得等への理解と協力を図った。 【市民協働課】 ・男性市職員が自宅で作った昼食用の弁当を持参する「おとう飯」を実施した。 【総務課】 ・部課内で研修教材として活用するため『地方公共団体におけるパワーハラスメント対策（地方公務員災害補償基金制作）』のDVDを配付 	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑多様化する行政ニーズに的確に対応できる組織・人員体制を整備しつつ、いかに多様化する働き方に対応するかが課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「働きやすい職場づくりのための行動計画」に基づく取組を推進する。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						213	市民参画・行政運営	情報発信力の強化	情報発信力の強化・充実	情報発信の強化・充実とシティプロモーションの推進					秘書広報課／情報課／企画課
214	市民参画・行政運営	情報発信力の強化	情報化の推進	電子自治体推進及び情報セキュリティの強化	情報課	61,894					61,894	<ul style="list-style-type: none"> ・行政環境に特化したクラウドサービス（LGWAN-ASP）によるフォーム機能を活用し、新型コロナワクチン接種申請や成人式の参加申込などに活用した。 ・反復的な業務の自動化を目指し、RPAの実証実験を行ったほか、AIを活用した議事録作成サービスの試験導入を行った。 ・職員の情報セキュリティ意識の向上を図るため、e-ラーニングを実施し、5講座・延べ729人が受講した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーム機能からの申請については、データの打ち込み作業が皆減したほか、議事録作成サービスでは調製時間の大幅な短縮が図られた。 ・RPA構築・運用環境に関する知見が得られた。 ・自治体システム標準化への準備を進め、円滑な移行と移行後の業務フローについて検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入したサービスの活用範囲拡大 ・実証実験を糧にした本格導入 ・既存システムの有効活用（使い切れていない機能を活用） ・自治体システム標準化に向けた体制づくり ・オンライン申請への対応 	

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						215	市民参画・行政運営	情報発信力の強化	情報化の推進	地域情報化推進事業	情報課				
216	市民参画・行政運営	情報発信力の強化	情報化の推進	データ利活用の推進	企画課／情報課	0					0	館山市が保有する公共データについて、市民等が活用しやすい形式によるオープンデータ化を検討します。また、国や民間企業等が提供するビッグデータを分析し、まちづくりに活用します。	【企画課】 ・環境省が提供している地域経済循環分析自動作成ツールを活用 ・7月20日に無料で開催できるRESASの出前講座（関東経済産業局主催）を職員・議員向けに開催 【情報課】 ・大字別年齢別（5歳刻み）人口令和3年4月分を公開するなど、提供できるデータで要望のあったものについては、可能な限り公開を行う。	【企画課】 ・RESASのデータの見方、活用方法等の理解が低い。 ・オープンデータ化にあたっては、提供に係るコストや、利用者/提供者間の責任分担の整理等の部分で課題が生じている。 【情報課】 ・統計局で公表しているデータ(e-stat)についての周知が不足している。	・職員に対し、RESASデータの活用事例などを周知することで、理解を深める。 ・RESAS以外にも参考となるデータ源を積極的に収集する。 ・EBPM(証拠に基づく政策立案)の推進により、実効性のない事業の見直しや地域課題の解決に繋げる。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						217	市民参画・行政運営	戦略的な行財政運営	財政の安定と健全化	行財政改革の推進					行革財政課
218	市民参画・行政運営	戦略的な行財政運営	財政の安定と健全化	公共施設の見直し	行革財政課	0					0	『館山市公共施設等総合管理計画』に基づき、将来の人口規模を見据えた機能複合化・統廃合・長寿命化などを実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別施設計画の策定 策定率96%（26/27計画） ・文科省マニュアルによる簡易調査を実施し、各施設の施設カルテ作成 	<p>（職員確保）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全庁的に、新型コロナウイルス対応を優先していることに伴い、各部署が推進すべき取組みが休止している状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等総合管理計画の実行のための人員確保 （新型コロナウイルス対応の収束後） → 公共施設等総合管理計画の実行 ・個別施設計画の策定 → 取組推進・進捗管理

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
219	市民参画・行政運営	戦略的な行政運営	財政の安定と健全化	企業版ふるさと納税制度の推進	企画課	0					0	<p>企業版ふるさと納税制度の周知と活用により、地域課題を解決するような特色ある事業に積極的に取り組むとともに、SDGsに資する事業や未来に対する投資となるような事業を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・館山市に縁とゆかりがある企業約50社に館山市が寄附を活用して実施する取組と制度概要を記載したパンフレット送付 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内において、本制度を活用して実施する施策の位置づけを整理し、予算により実施していく施策との整合性を図ることが求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度を活用して実施したい施策をリストアップする。 ・企業へのセールス（トップセールス）を実施する。 ・クラウドファンディングを活用することにより、これまで以上に市独自の事業、新たな事業にチャレンジする体制を整える。
220	市民参画・行政運営	戦略的な行政運営	財政の安定と健全化	市税等の徴収率の安定化を図ることによる自主財源の確保	税務課（納税推進室）	0					0	<p>自主財源を確保するため、市税等の徴収率の安定化を図ります。また、納税相談等により、納税者の実情に沿った適切な徴収に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現年度課税分の徴収強化（新規、少額滞納案件に対する「早期着手・早期接触・早期整理」の実施） ・差押えを前提とした滞納整理 ・滞納者の実情に応じた滞納整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した徴収率の維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・現年度課税分の徴収強化（新規、少額滞納案件に対する「早期着手・早期接触・早期整理」の実施） ・差押えを前提とした滞納整理 ・滞納者の実情に応じた滞納整理
221	市民参画・行政運営	戦略的な行政運営	行政組織力の充実・強化	官民協働によるまちづくりの推進事業	企画課	0					0	<p>行政だけではカバーすることが難しい分野に、民間企業の技術や大学の専門的知見を活かすことにより、市民の多様なニーズへの対応や社会課題の解決に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに三井住友海上と包括連携協定を締結 ・協定締結先企業が主催するセミナー等の視聴会実施 ・各企業と事業担当課との直接の連携事業も増えてきている 	<ul style="list-style-type: none"> ・協定締結後、少しずつではあるが、具体的な連携事業ができている。 ・関係する部署が多岐にわたるので、各課が積極的に連携してほしい。 ・連携を行う目的を明確にし、継続的・発展的な関係性を維持する 	<ul style="list-style-type: none"> ・産官学金労言士等との連携を強化し、意見交換や事業の協働、必要に応じて連携協定の締結を推進する。 ・民間企業との地方創生に関する包括連携協定の締結など、市が取り組む課題解決と企業が推進するCSR活動を関連付け、市民の多様なニーズに対応できる体制を整える。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）					事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策	
						R3	R4	R5	R6	R7					合計
						222	市民参画・行政運営	戦略的な行財政運営	行政組織力の充実・強化	人的資源の有効活用による行政組織力の強化・市民サービスの維持向上					総務課
223	市民参画・行政運営	戦略的な行財政運営	行政組織力の充実・強化	窓口サービスの充実	市民課	51,131					51,131	<p>来庁者へのスムーズな対応や利便性向上に努めるとともに、マイナンバーカードの普及促進、各種証明書のコンビニ交付等、市民ニーズに合ったサービスの提供を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住基人口44,937人のうち、19,395人にカードを交付している。（交付率43.16%） ※R4.3.31現在 （R2年度末は13,806人に交付し、交付率30.37%） 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も職員研修などにより、さらなる窓口サービスの向上に努める。 ・市民の利便性向上と窓口の混雑緩和のため、コンビニ交付等のサービスの利用促進が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの交付率を増加させ、コンビニ交付の利用を促進させる。 ・窓口業務の委託を検討する。
224	市民参画・行政運営	戦略的な行財政運営	行政組織力の充実・強化	市民相談事業	市民課	631					631	<p>市民の身近な相談窓口である市民相談室において、市民相談員が日常の困りごとに対する助言や専門機関の紹介を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民からの相談に対し、必要に応じ関係機関と連携し、相談業務の充実を図った。 R3相談実績：149件（電話案内を含む。） ・相談室の開設日について、広報やホームページに掲載し周知に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の相談内容に応じた最適な関係機関を紹介することで、市民の不安解消が図られた。 ・コロナ窩において、相談員向けの研修等が実施されていないことから、館山市社会福祉協議会等関係機関との連携強化に努め、知識の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市民相談員を配置し、市民からの様々な相談に対し、助言や専門機関の紹介を行う。 ・市のホームページや広報を活用し、相談内容に応じた相談窓口の紹介を行う。
225	市民参画・行政運営	戦略的な行財政運営	行政組織力の充実・強化	市民ニーズに応じた納付環境の整備	税務課（納税推進室）	11,502					11,502	<p>多様化する生活スタイルや市民ニーズに柔軟に対応した納付環境を整備し、市民の利便性の向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホアプリ納付を導入し、時間・場所を問わず納付が可能となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共団体ごとに、新たな納付環境が、整備されているため公共団体間の納付環境格差が生じ始めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・口座振替やコンビニ納付、キャッシュレス決済の利用促進とともに、近年の情報・技術革新や社会環境の変化に柔軟に対応した納付環境の整備促進を図る。

第4次館山市総合計画「後期基本計画」進捗状況調査シート

資料2-3

事業No.	基本目標名	節名	施策名	計画事業名	担当課	決算（見込み）額（千円）						事業内容	R3年度の事業実施状況	事業の効果及び課題	今後の事業展開・改善策
						R3	R4	R5	R6	R7	合計				
						226	市民参画・行政運営	広域行政の推進	広域行政の推進	中心部への機能集約によるまちづくり	企画課 ／都市計画課				
227	市民参画・行政運営	広域行政の推進	広域行政の推進	定住自立圏構想推進事業	企画課	47					47	地方創生や人口減少対策など、地域に共通する喫緊の課題に対し、「定住自立圏構想」や新たな広域連携を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共生ビジョン懇談会の設置、委員の委嘱 ・ 共生ビジョンに位置付ける事業の検討（作業部会の設置・運営、共生ビジョン懇談会の開催等） ・ 10月8日：第1回共生ビジョン懇談会の開催 ・ 共生ビジョンに位置付けた事業の予算化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両市の作業部会や事務局での協議を重ね、ビジョン策定の目的が付いた。 ・ 事業内容や事業費など、細かい部分での調整に時間を要した。 ・ その他、選挙の日程等により、当初の予定よりビジョン策定が遅れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度中に定住自立圏共生ビジョンを策定する。 ・ 定住自立圏共生ビジョンの進捗状況確認、必要に応じた見直しを行う。